

**庄原市子ども・子育て支援に関する
ニーズ調査報告書**

平成26年3月

目 次

I	調査概要	1
II	就学前児童調査結果	
1	対象者及び保護者の特性	4
2	祖父母などに預かってもらっている状況	5
3	保護者の就労状況について	6
4	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	8
5	病児・病後児保育について	10
6	平日の定期的な教育・保育事業の利用希望	11
7	休日の定期的な教育・保育事業の利用希望	13
8	一時預かりについて	14
9	放課後児童クラブについて	16
10	育児休業制度等の利用状況	19
11	地域子育て支援拠点事業について	20
12	子育て全般について	21
III	小学生児童調査結果	
1	対象者及び保護者の特性	28
2	祖父母などに預かってもらっている状況	29
3	保護者の就労状況について	30
4	放課後児童クラブについて	32
5	病児・病後児保育について	38
6	子育て全般について	39

1 調査概要

1 調査の目的

国において平成 24 年 8 月に「子ども・子育て関連 3 法」が制定され、新制度の基礎自治体である市町村に「子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務づけられました。

これを受けて、本調査は、平成 27 年度を初年度とする『庄原市子ども・子育て支援事業計画』の策定に向けて、市民の子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するために、「庄原市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施しました。

2 調査実施方法

調査は、以下の方法により実施しました。

区 分	就学前児童調査	小学生児童調査
1.調査対象者と抽出方法	庄原市に居住する0歳から5歳までの小学校入学前児童	庄原市に居住する小学生児童
2.調査方法	郵送により配布・回収	郵送により配布・回収
3.調査期間	平成 26 年 3 月	平成 26 年 3 月
4.回収状況	配布数 1,000 回収数 456 回収率 45.6%	配布数 1,000 回収数 415 回収率 41.5%

3 集計にあたっての注意点

グラフは、パーセントで示しています。

グラフ中に表示している「N=」は、パーセントを計算するときの母数となるサンプル数（回答者数）を示しています。

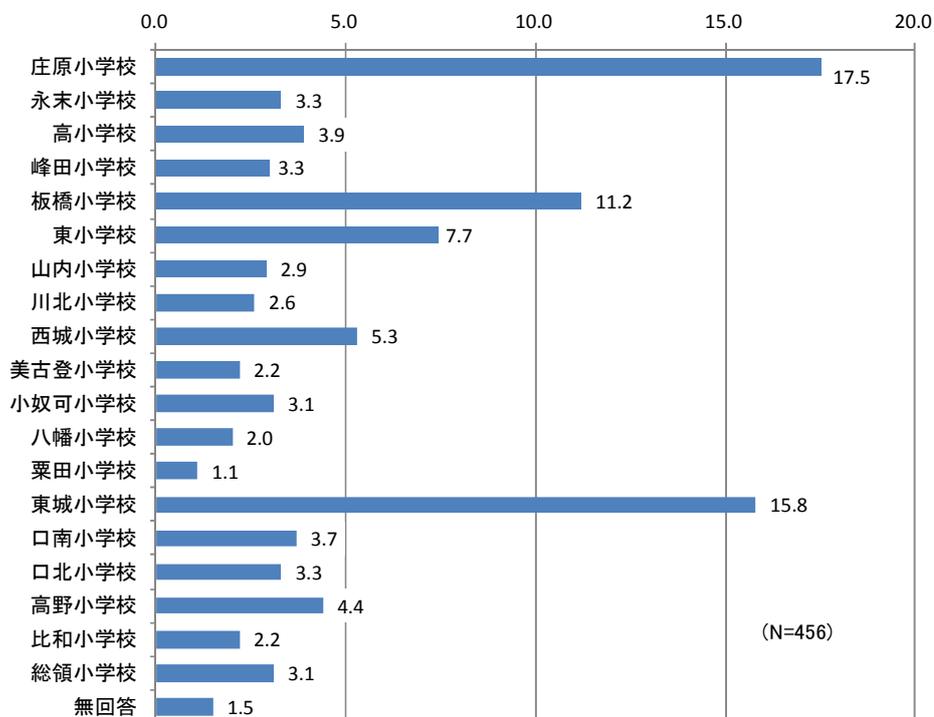
算出されたパーセントは、小数第 2 位を四捨五入して、小数第 1 位までの表示としているため、その合計が必ずしも 100.0%にならない場合があります。

また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は 100.0%を超えます。

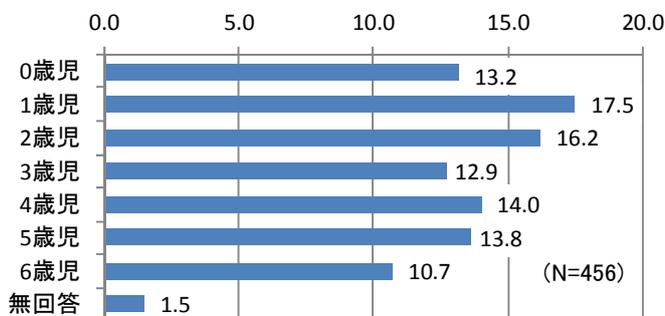
II 就学前児童調査結果

1. 対象者及び保護者の特性

問1. お住まいの小学校区を教えてください。(1つに○)

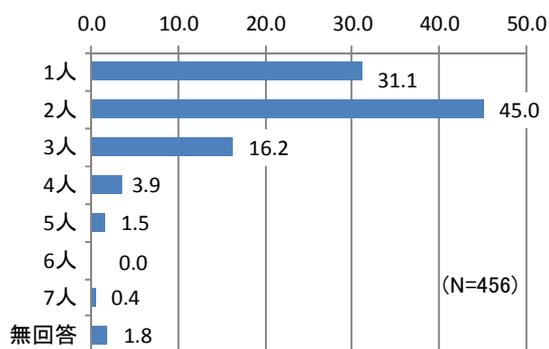


問2. あて名のお子さんの生年月をお聞きします。

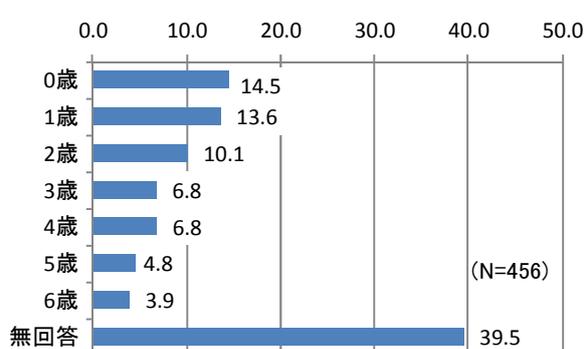


問3. あて名のお子さんに兄弟姉妹は何人おられますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。また、2人以上おられる場合、末子の生年月をお答えください。

【子どもの数】



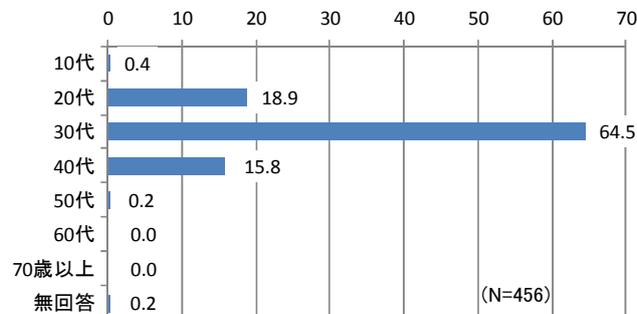
【末子の年齢】



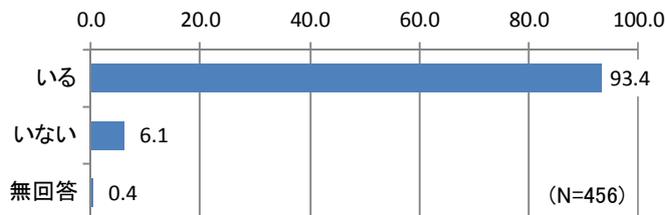
問4. あなたは、あて名のお子さんからみて、続柄は何ですか。(1つに○)



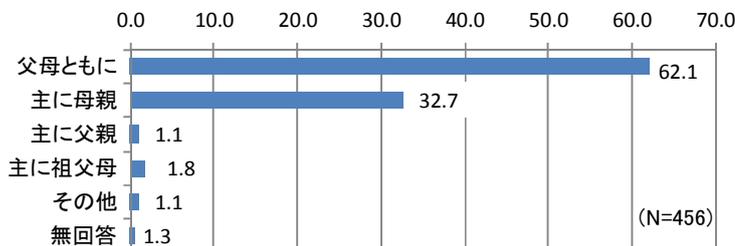
問5. あなたの年齢を教えてください。(1つに○)



問6. あなたに配偶者はいらっしゃいますか。(1つに○)



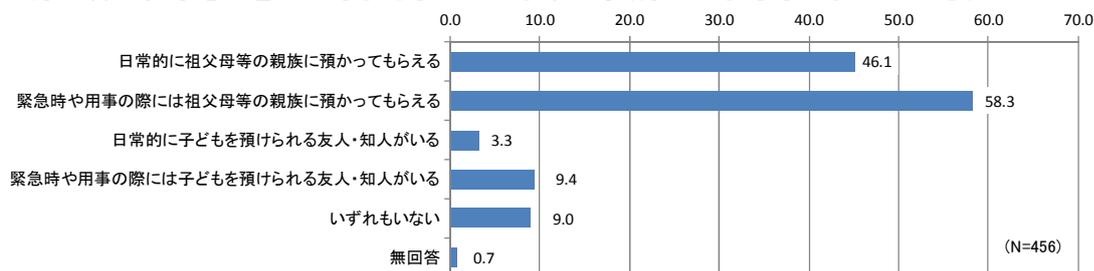
問7. あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(1つに○)



2. 祖父母などに預かってもらっている状況

お子さんをみてもらえる人の有無についてみると、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」と答えた人が 58.3%で約 6 割となっています。一方、「いずれもない」と答えた人は 9.0%で、このような家庭は緊急時の対応が困難となっています。

問9. あて名のお子さんをみてもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)



3. 保護者の就労状況について

3-1. 母親(父親)の就労形態

母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」が 33.6%で最も多く、ついで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 22.4%、「パート・アルバイト等で就労している」が 20.0%と続いています。

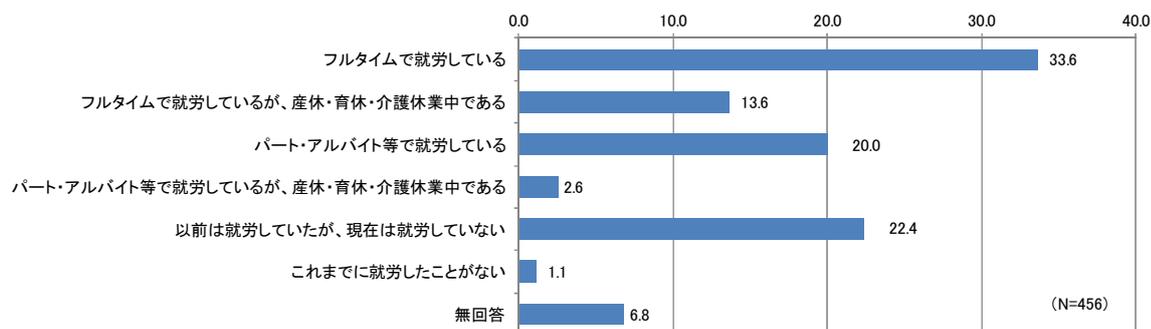
父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」が 90.1%で全体の 9 割を占めています。

母親の就労状況は、父親の就労状況と比べると、フルタイム就労、パート・アルバイト等就労と多様化しています。

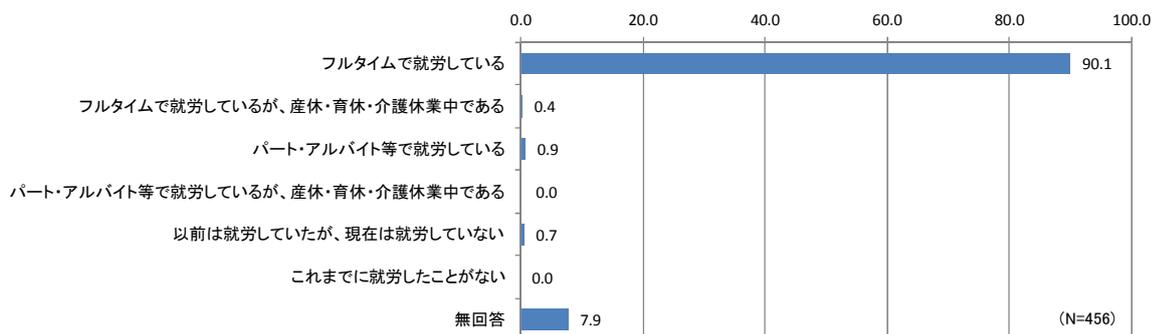
すべての方にお伺いします。

問 10. 現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお伺いします。

【母親】



【父親】

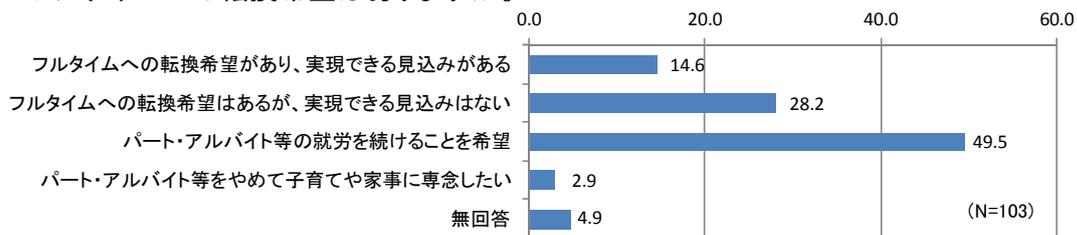


3-2. フルタイムへの転換希望(母親)

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望についてみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が49.5%で半数を占めています。「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が28.2%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が14.6%と、全体的なフルタイムへの転換希望の割合は42.8%ですが、実現できる見込みがあるのはそのうちの14.6%と、フルタイムへの転換が難しい状況がうかがえます。

問 10 で「3」または「4」に○をした方にお伺いします。

問 10-1. フルタイムへの転換希望はありますか。



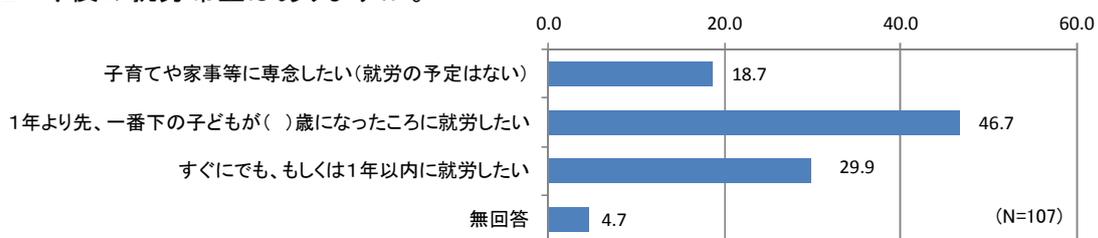
3-3. 現在就労していない母親の就労意向

(1) 就労意向

現在就労していない母親の就労意向についてみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が29.9%、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が46.7%と、全体の就労意向は76.6%で、就労意欲は高まっています。

問 10 で「5」または「6」に○をした方にお伺いします。

問 10-2. 今後の就労希望はありますか。



(2) 就労希望の形態

就労意向を持つ母親が希望する就労形態をみると、「パート・アルバイト等」が51.2%と全体の5割を超え、最も多くなっています。「フルタイム」を希望する割合は11.0%にとどまっており、子育てをしながら就労するにあたり、フルタイムよりも短い時間の就労を希望する割合が多いことがうかがえます。

問 10-2 で「2」または「3」に○をした方にお伺いします。

問 10-3. 就労希望の形態はどのようなものですか。



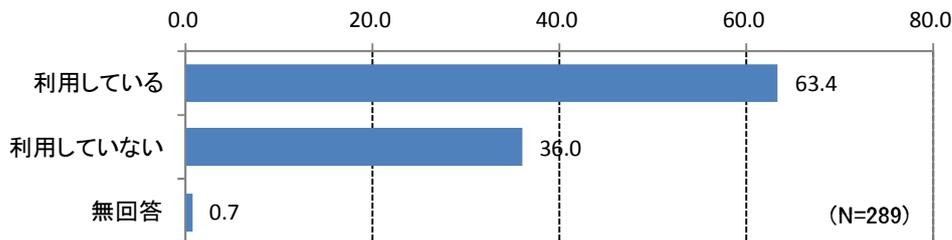
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

4-1. 利用しているサービス

現在、幼稚園や保育所等の「定期的なサービス」を「利用している」人の割合は 63.4%となっています。そのうち、「認可保育所」を利用している割合が 88.2%と圧倒的に多く、以下「幼稚園」(7.3%)、「幼稚園の預かり保育」(2.4%)と続いています。

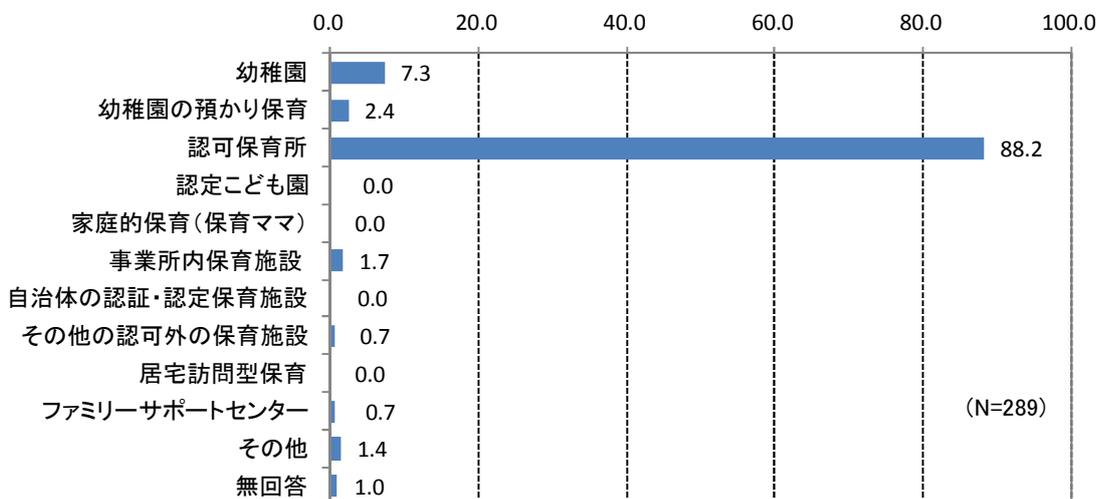
すべての方にお伺いします。

問 11. あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所等の「定期的なサービス」を利用していますか。(1つに○)



問 11 で「1」に○をした方にお伺いします。

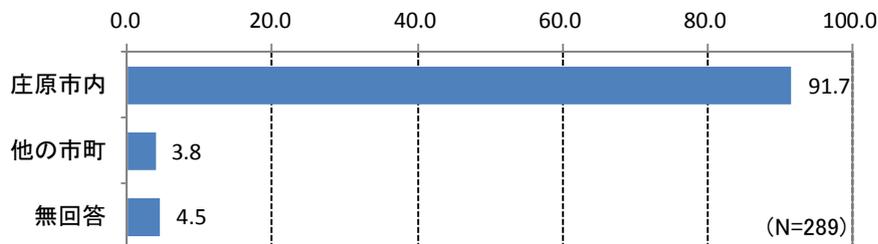
問 11-1. あて名のお子さんは、平日どのようなサービスを利用していますか。年間を通じて定期的に利用しているサービスをお答えください。(あてはまるものすべてに○)



4-2. 教育・保育サービスの実施場所

主に利用している保育サービスの実施場所についてみると、「庄原市内」が91.7%と全体の9割以上を占めています。

問 11-3. 問 11-1で選択したサービスのうち、主に利用しているサービスの実施場所はどこですか。(1つに○)

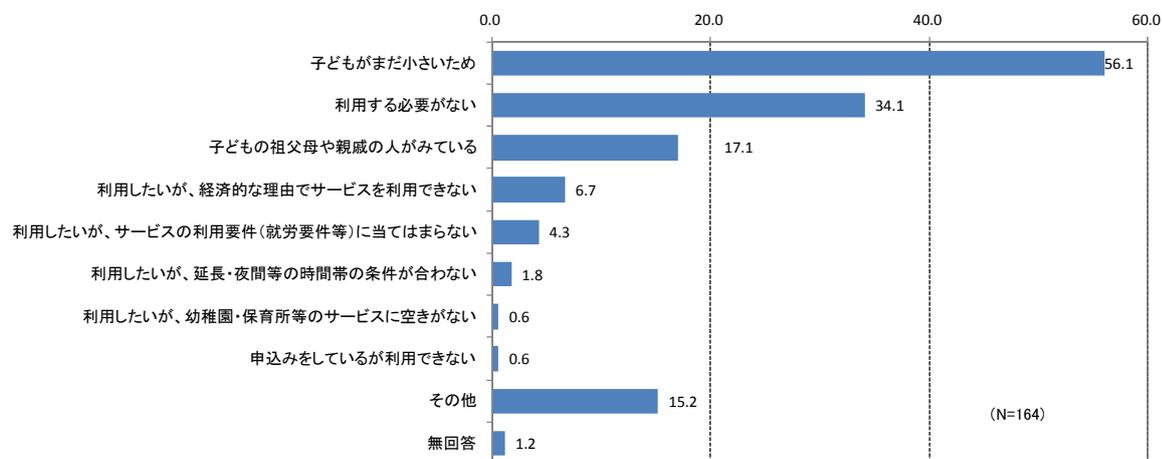


4-3. 利用していない理由

現在、平日の定期的な教育・保育サービスを利用していない理由としては、「子どもがまだ小さいため」が56.1%と半数以上を占め、ついで「利用する必要がない」が34.1%となっています。以下「子どもの祖父母や親戚の人がみている」(17.1%)、「利用したいが、経済的な理由でサービスを利用できない」(6.7%)と続いています。

問 11 で「2.利用していない」に○をした方にお伺いします。

問 11-4. 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



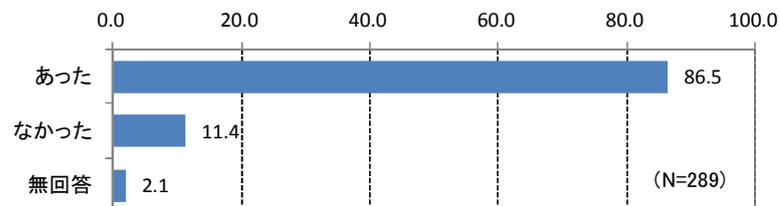
5. 病児・病後児保育について

5-1. 過去1年間に保育サービスを利用できなかったことの有無

この1年間で、お子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかった経験についてみると、「あった」が86.5%となっています。その対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が71.6%で最も多く、ついで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が46.8%となっています。以下「父親が仕事を休んだ」(31.6%)、「就労していない保護者が子どもをみた」(16.0%)と続いており、「病児・病後児保育を利用した」はわずか0.4%となっています。

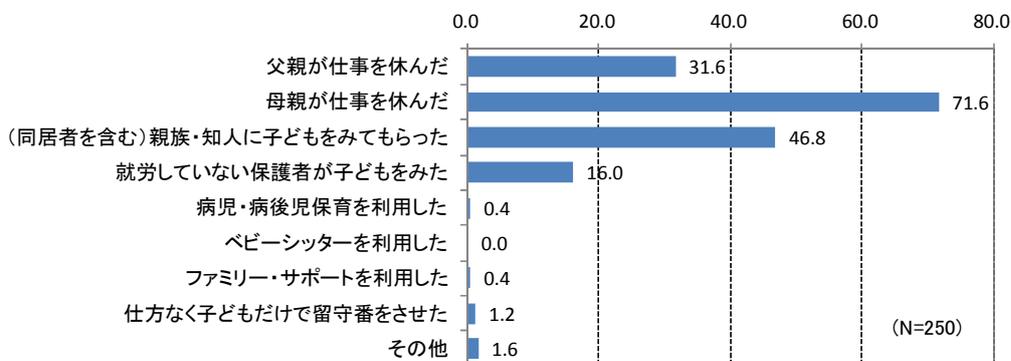
平日の定期的な幼稚園・保育所等のサービスを利用している方(問11で「1」に○をつけた方)にお伺いします。利用してない方は問13へお進みください。

問12. この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで幼稚園や保育所等が利用できなかったことはありますか。(1つに○)



問12で「1」に○をした方にお伺いします。

問12-1. この1年間の対処方法とそれぞれの日数は何日でしたか。(あてはまるものすべてに○)

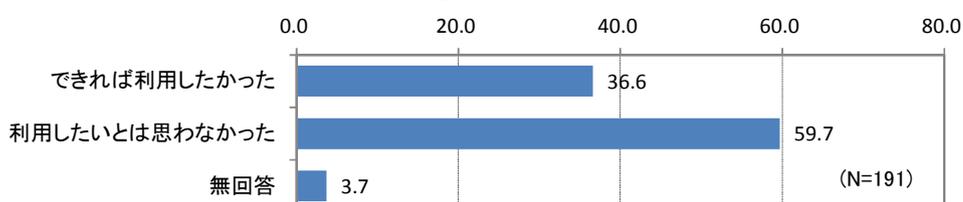


5-2. 病児・病後児保育の利用希望

父親または母親が仕事を休んで対処した人のうち、病児・病後児保育を「できれば利用したかった」と答えた割合は36.6%となっています。利用を希望する方に対して、利用方法や手続きの周知を図る展開が望まれます。

問12-1で「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

問12-2. その際、できれば病児・病後児保育を利用したいと思いましたが。(1つに○)



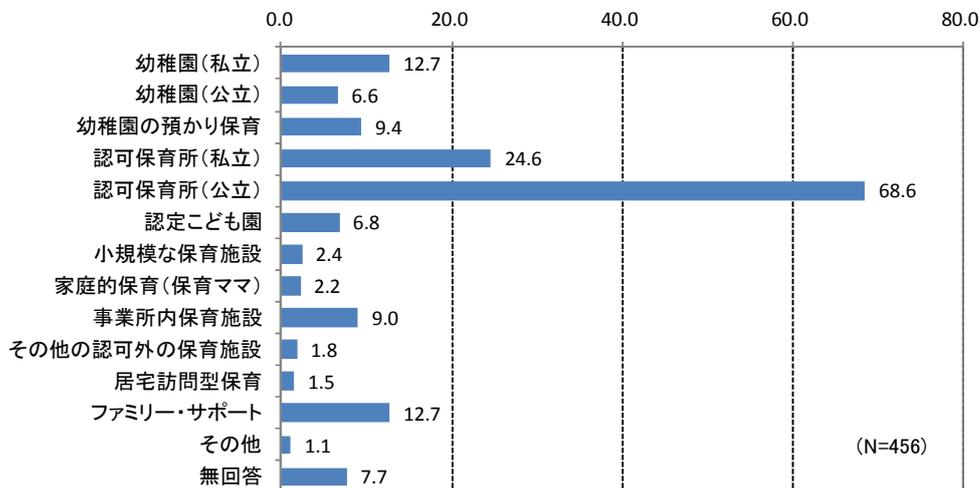
6. 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

6-1. 今後利用したいサービスと場所

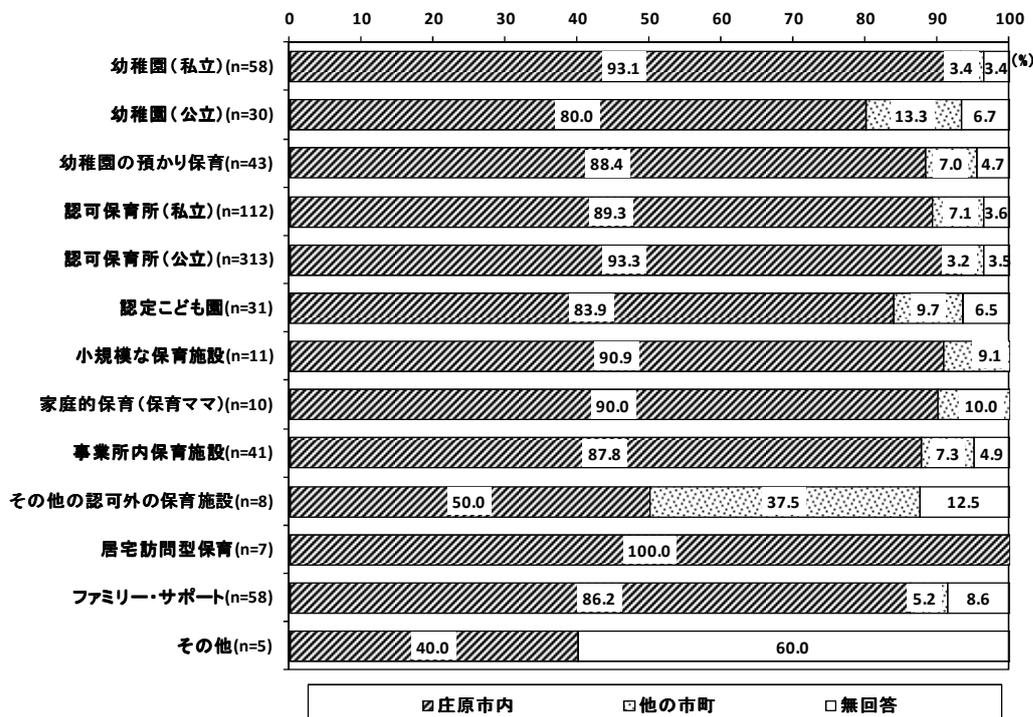
今後定期的に利用したいサービスについてみると、「認可保育所（公立）」が68.6%、「認可保育所（私立）」が24.6%で、「認可保育所」を希望する割合が特に多くなっています。以下「幼稚園（私立）」（12.7%）、「幼稚園の預かり保育」（9.4%）、「事業所内保育施設」（9.0%）と続いています。選択した事業を利用したい場所についてみると、ほとんどの事業において「庄原市内」を希望する割合が大半を占めています。

すべての方にお伺いします。

問 13. 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の幼稚園・保育所等のサービスとして、今後「定期的に」利用したいと考えるサービスをお答えください。（あてはまるものすべてに○）また、選択したサービスについて、利用したい場所もそれぞれお答えください。



【 利用したい場所 】

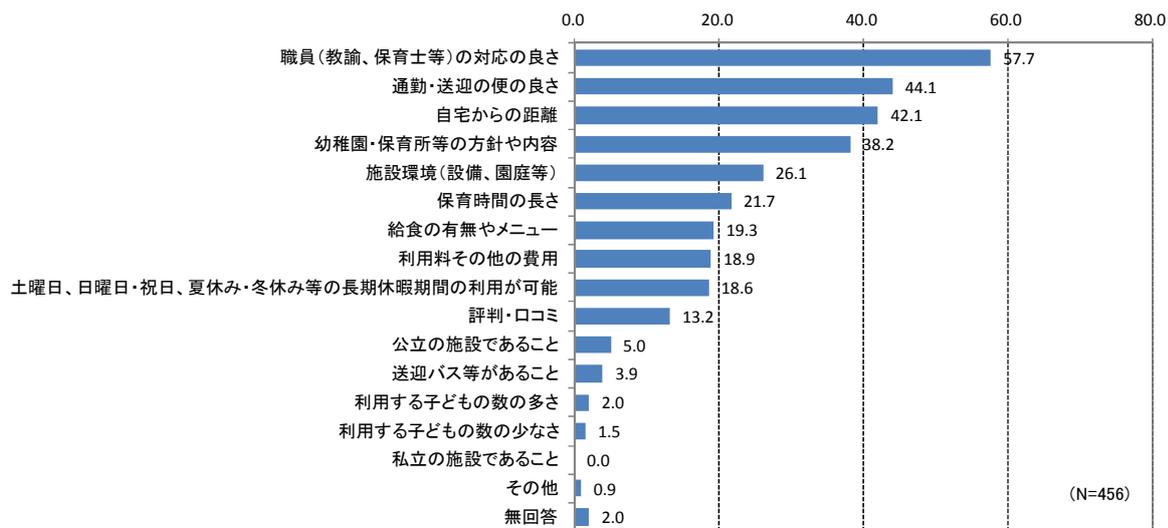


6-2. 利用する施設を選ぶ際に重視すること

利用する施設を選ぶ際に、重視したいことについてみると、「職員（教諭、保育士等）の対応の良さ」が 57.7%で最も多くなっています。ついで「通勤・送迎の便の良さ」が 44.1%、「自宅からの距離」が 42.1%が続いています。以下「幼稚園・保育所等の方針や内容」（38.2%）、「施設環境（設備、園庭等）」（26.1%）となっています。

施設の場所等の便利の良さだけでなく、施設自体の全体的な質の高さも重視されていることがうかがえます。

問 13-1. あて名のお子さんが利用する施設を選ぶ際に、重視したいことは何ですか。（3 つまで○）



7. 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

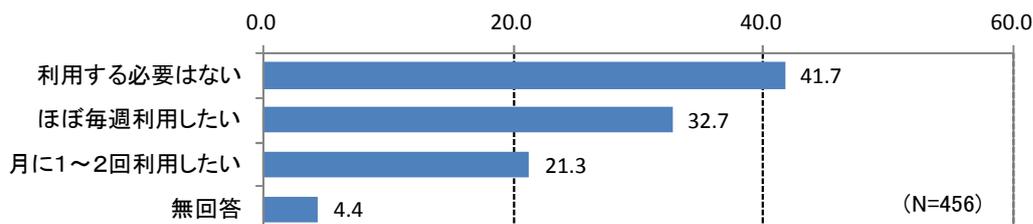
休日の定期的な教育・保育サービスの利用希望についてみると、土曜日は「ほぼ毎週利用したい」と「月に1~2回利用したい」を合わせて54.0%が利用を希望しています。日曜日・祝日は、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1~2回利用したい」を合わせて20.9%と、土曜日の利用希望割合の半数以下となっています。

現在幼稚園を利用している方の、夏休み・冬休み等長期休暇期間中の預かり保育の利用希望についてみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(19.0%)と「休みの期間中、週に数日利用したい」(33.3%)を合わせた割合は52.3%で、半数以上の方が利用を希望しています。

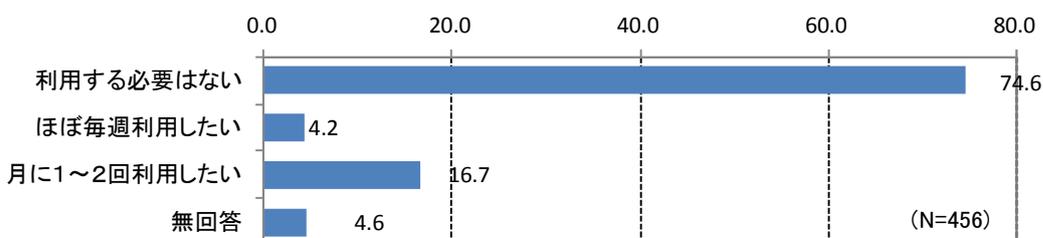
すべての方にお伺いします。

問 14. あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的なサービスの利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。それぞれの中から該当する番号に○をつけてください。(1つに○)

(1) 土曜日



(2) 日曜日・祝日



現在、幼稚園を利用している方にお伺いします。利用していない方は、問 16 にお進みください。

問 15. あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等長期休暇期間中の預かり保育の利用希望はありますか。該当する番号に○をつけてください。(1つに○)



8. 一時預かりについて

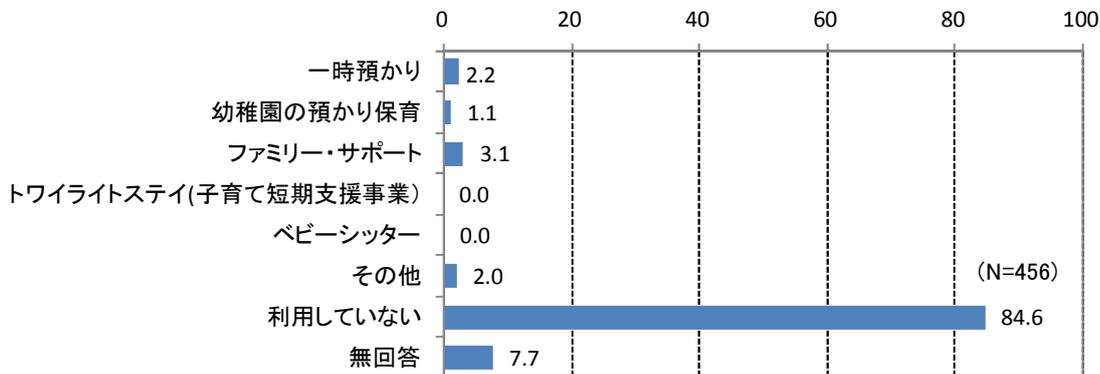
8-1. 過去1年間に家族以外に一時的に預けたこと

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているサービスについてみると、「利用していない」が84.6%を占めており、利用している方の割合は、「ファミリー・サポート」が3.1%、「一時預かり」が2.2%となっています。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用する必要の有無についてみると、「利用したい」は36.6%となっています。サービスの利用目的をみると、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」(64.7%)、「私用・リフレッシュ目的」(58.1%)、「不定期の就労」(34.7%)の順となっています。

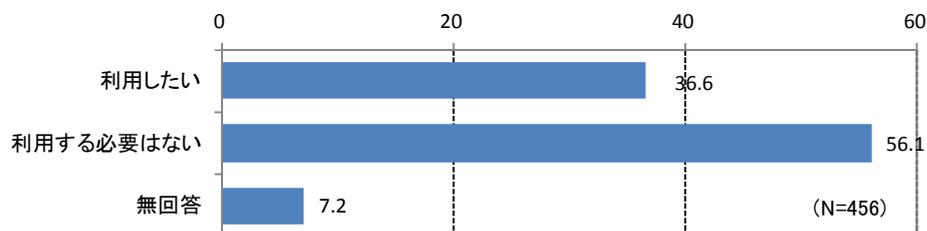
すべての方にお伺いします。

問 16. あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

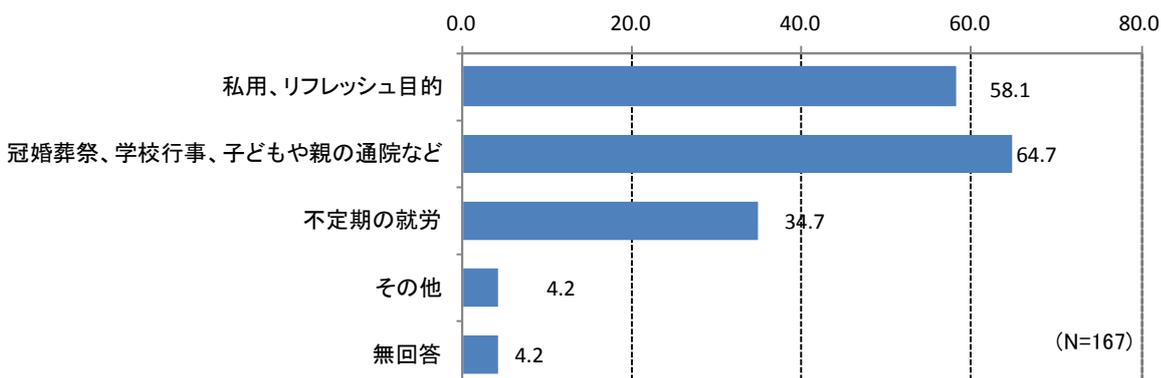


すべての方にお伺いします。

問 17. あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問 15 のようなサービスを利用する必要がありますか。該当する番号に○をつけ、必要な日数もお答えください。



【利用目的】



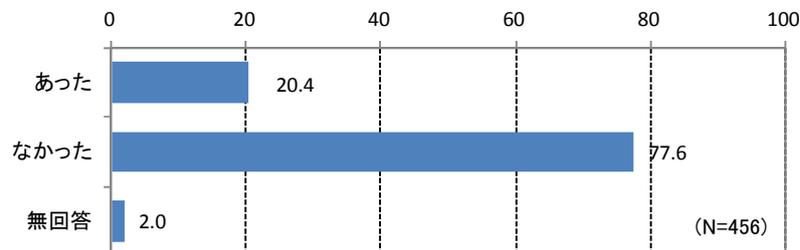
8-2. 宿泊を伴う一時預かりについて

この1年間で、保護者の用事などにより、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならない経験についてみると、「あった」が20.4%となっています。その際の対処方法としては、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が82.8%で8割以上を占め、ついで「仕方なく子どもを同行させた」が22.6%となっています。

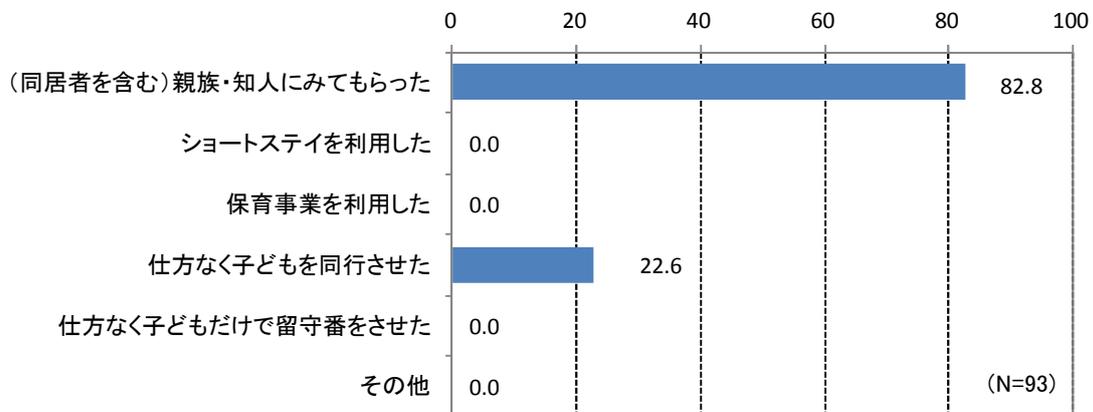
また、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」際の困難度としては、「非常に困難」と「どちらかという困難」を合わせて困難が50.7%に対し、「特に困難ではない」が48.1%となっています。

すべての方にお伺いします。

問 18. この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。該当する番号に○をつけ、この1年間の対処方法の日数もお答えください。

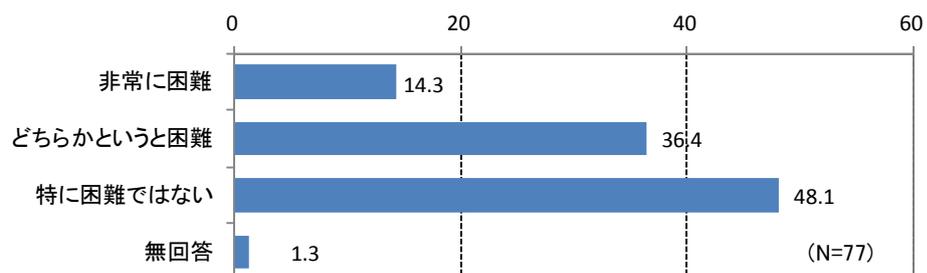


【対処方法】



問 18 で「1. あった ①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をした方にお伺いします。

問 18-1. その場合の困難度はどの程度でしたか。(1 つに○)



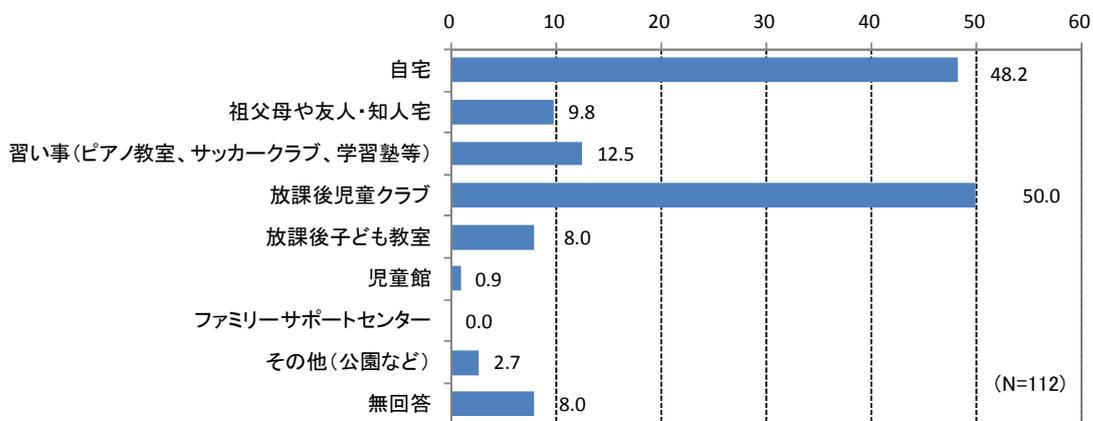
9. 放課後児童クラブについて

9-1. 平日の放課後の過ごし方(低学年の時)

小学校低学年時に放課後を過ごさせたい場所についてみると、「放課後児童クラブ」が50.0%で最も多く、ついで「自宅」の48.2%となっています。以下「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（12.5%）、「祖父母や友人・知人宅」（9.8%）と続いています。

あて名のお子さんの年齢が5歳以上の方にお伺いします。該当しない方は、問 22 へお進みください。

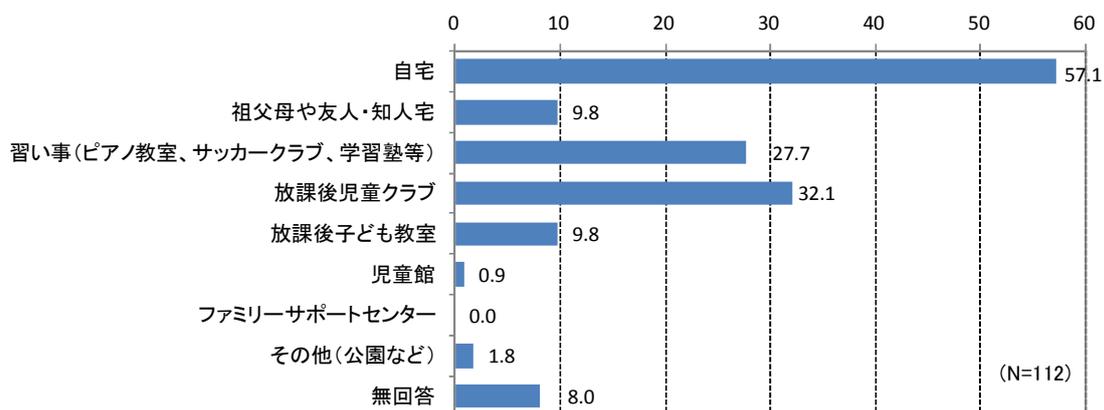
問 19. あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



9-2. 平日の放課後の過ごし方(高学年の時)

小学校高学年時に放課後を過ごさせたい場所についてみると、「自宅」が57.1%で最も多く、ついで「放課後児童クラブ」の32.1%となっています。以下「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」（27.7%）、「祖父母や友人・知人宅」（9.8%）、「放課後子ども教室」（9.8%）と続いています。小学校低学年時よりも、「自宅」と「習い事」の割合が増えています。

問 20. あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



9-3. 放課後児童クラブの利用意向

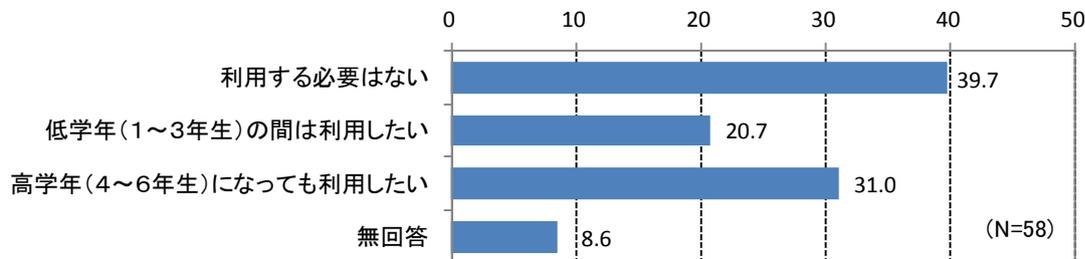
放課後児童クラブの利用希望者のうち、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中の利用希望をみると、土曜日については「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」を合わせて 51.7%と約半数が利用を希望しています。日曜日・祝日は、「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」を合わせて 18.9%と、土曜日の利用希望と比べると半数以下の割合となっています。長期休暇期間中をみると、「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」を合わせて 94.8%を占めており、ニーズの高さがうかがえます。

問 19 または問 20 で「4」「5」に○をした方にお伺いします。希望しない方は、問 22 にお進みください。

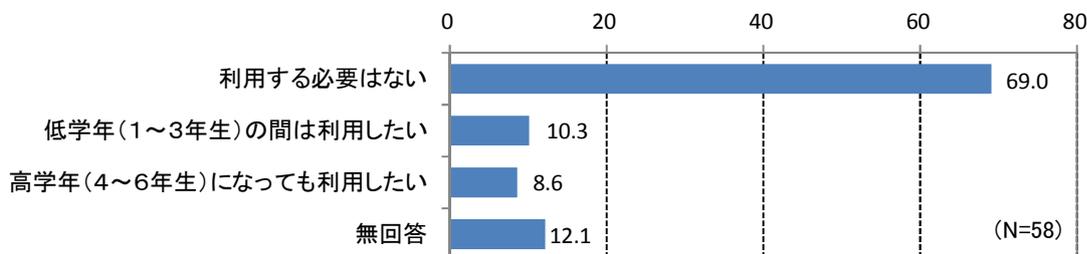
問 21. あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休み等長期休暇期間中に、放課後児童クラブ、放課後子ども教室の利用希望はありますか。(1つに○)

【放課後児童クラブ】

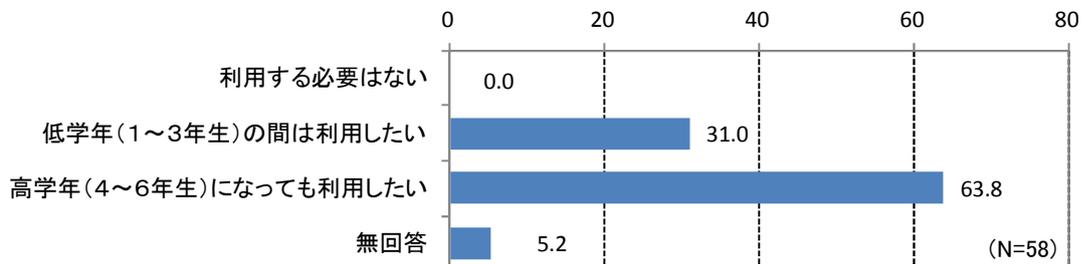
(1) 土曜日



(2) 日曜日・祝日



(3) 夏休み・冬休み等長期休暇期間中



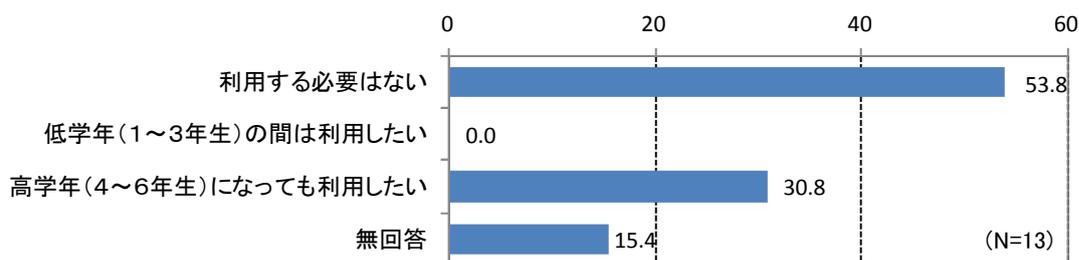
9-4. 放課後子ども教室の利用意向

放課後子ども教室の利用希望者のうち、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中の利用希望をみると、土曜日については「高学年になっても利用したい」が 30.8%、日曜日・祝日は、「高学年になっても利用したい」が 15.4%となっています。

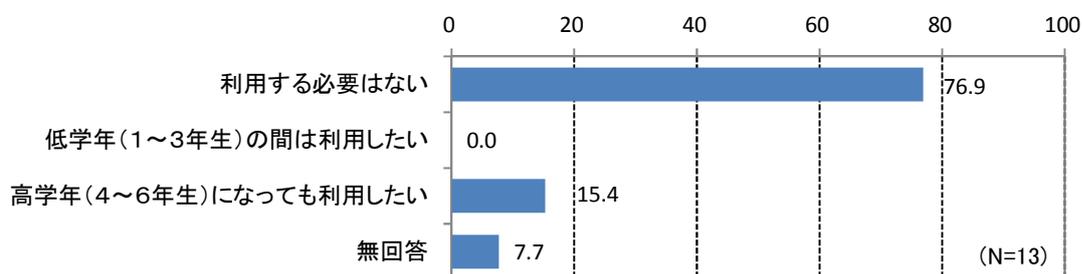
長期休暇期間中をみると、「低学年の間は利用したい」(15.4%)、「高学年になっても利用したい」(61.5%)を合わせて 76.9%となっており、土曜日、日曜日・祝日の利用希望と比べると利用を希望する割合が多くなっています。

【放課後子ども教室】

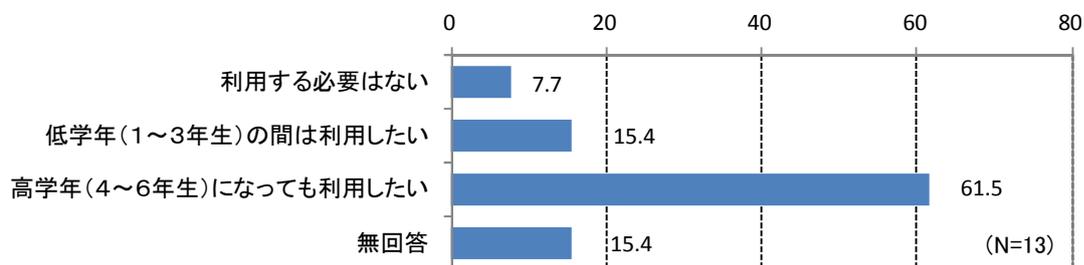
(1) 土曜日



(2) 日曜日・祝日



(3) 夏休み・冬休み等長期休暇期間中



10. 育児休業制度等の利用状況

10-1. 育児休業制度の利用の有無

お子さんが生まれた時の育児休業取得の有無についてみると、母親は「取得した（取得中である）」が39.3%で、約4割が育児休業を取得しています。

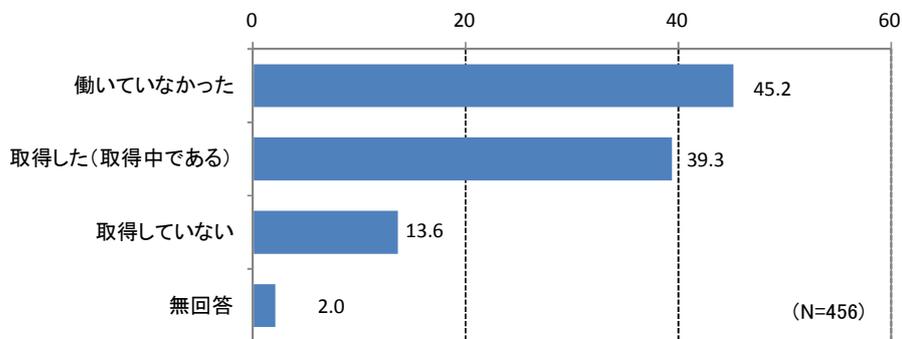
父親は、「取得していない」が80.0%を占めており、「取得した（取得中である）」と答えた割合は1.3%となっています。

すべての方にお伺いします。

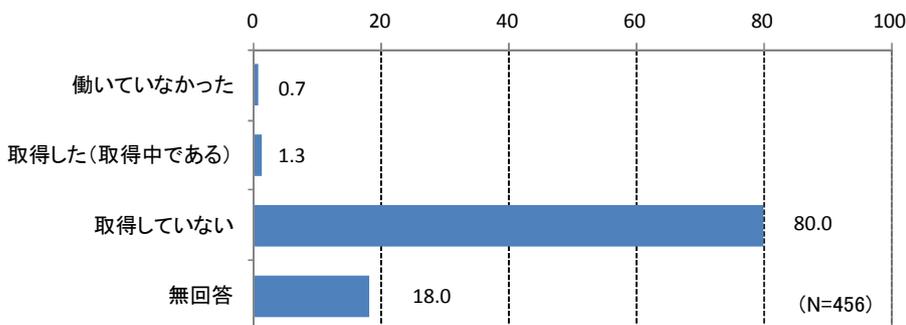
問 22. あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

(①母親、②父親ごと1つに○)

(1) 母親



(2) 父親



11. 地域子育て支援拠点事業について

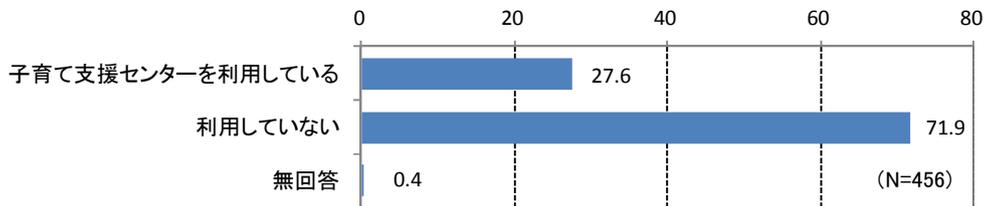
11-1. 利用状況と利用していない理由

「子育て支援センター」の利用状況についてみると、「子育て支援センターを利用している」と答えた割合は27.6%で、約4人に1人は利用しています。

利用したことがない理由についてみると、「普段は幼稚園や保育所等に通わせているため必要ない」が66.2%で最も多く、ついで「特に理由はない」が10.1%となっています。以下「忙しいから（時間がないから）」（5.8%）、「仲間に入れるかどうか不安」（3.7%）と続いています。

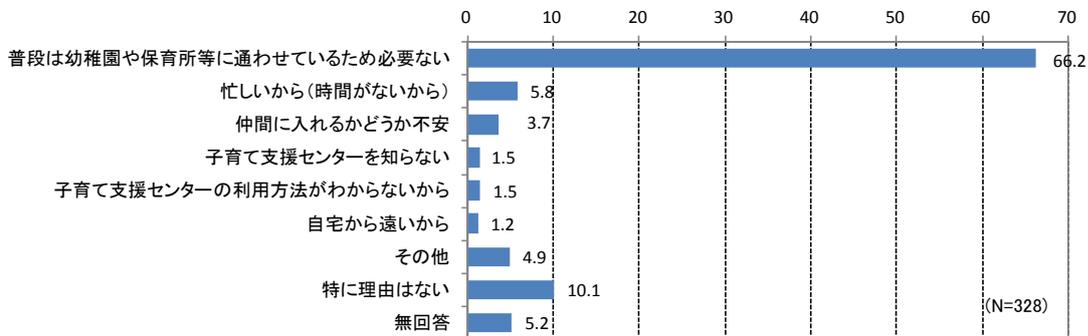
すべての方にお伺いします。

問 24. あて名のお子さんは現在、子育て支援センターを利用していますか。（1つに○）



問 24 で「2」に○をした方にお伺いします。

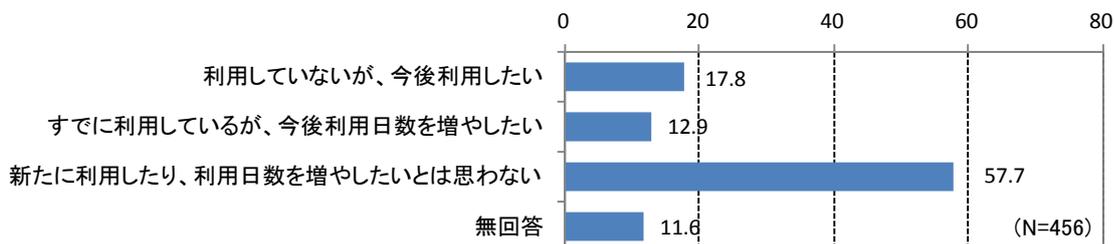
問 24-1. 利用したことがない理由はどのようなことですか。（1つに○）



11-2. 今後の利用希望

今後の利用希望についてみると、「利用していないが、今後利用したい」と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を合わせた割合は30.7%で、約3割の人が利用を希望しています。

問 25. 地域子育て支援センターについて、現在は利用していないができれば今後利用したい、あるいは利用頻度を増やしたいと思いませんか。（1つに○）

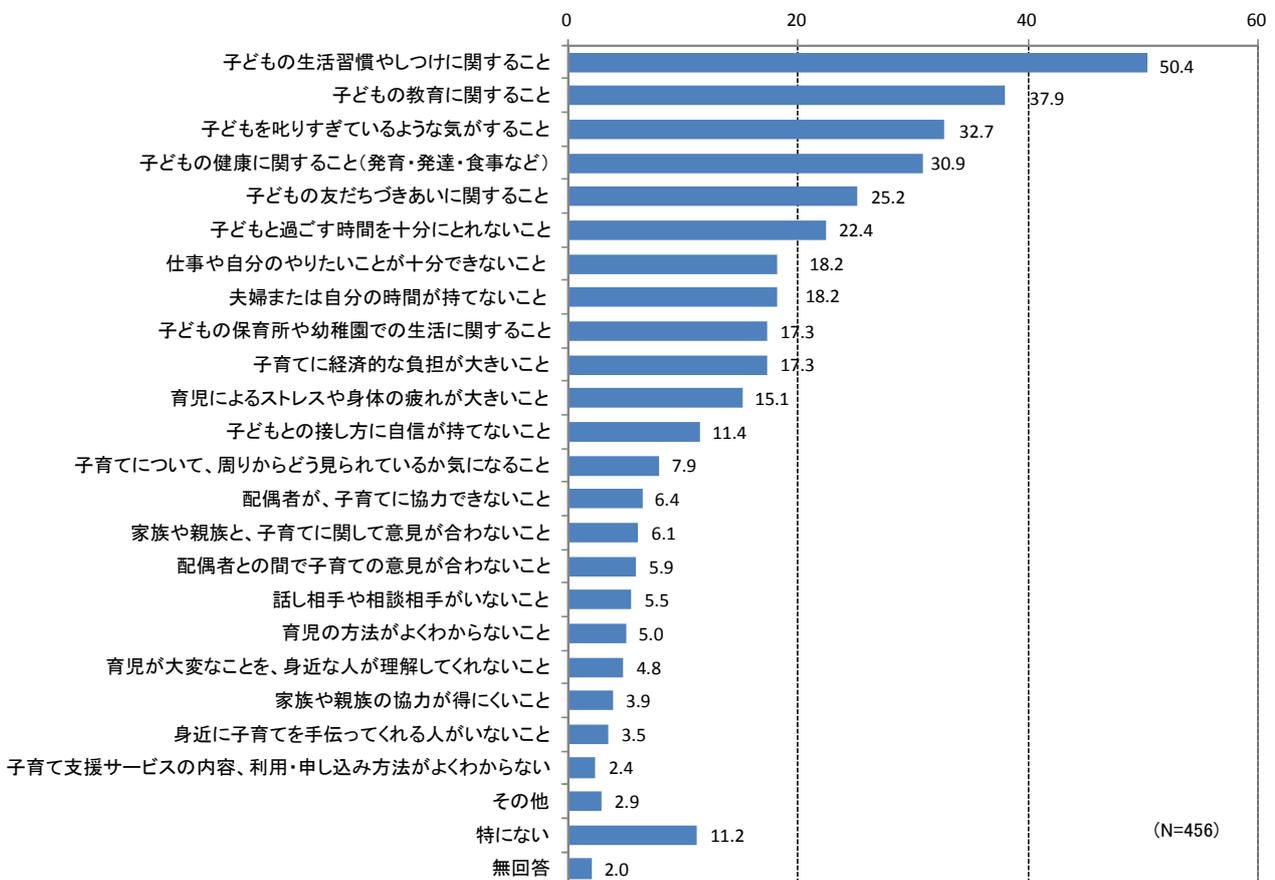


12. 子育て全般について

12-1. 子育てに関する悩みについて

子育てに関して日常悩んでいること、気になることについてみると、「子どもの生活習慣やしつけに関すること」が50.4%で最も多く、ついで「子どもの教育に関すること」が37.9%で続いています。以下「子どもを叱りすぎているような気がする」（32.7%）、「子どもの健康に関すること（発育・発達・食事など）」（30.9%）、「子どもの友だちづきあいに関すること」（25.2%）と続いています。

問 26. 子育てに関して、日常悩んでいること、また気になるのはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）



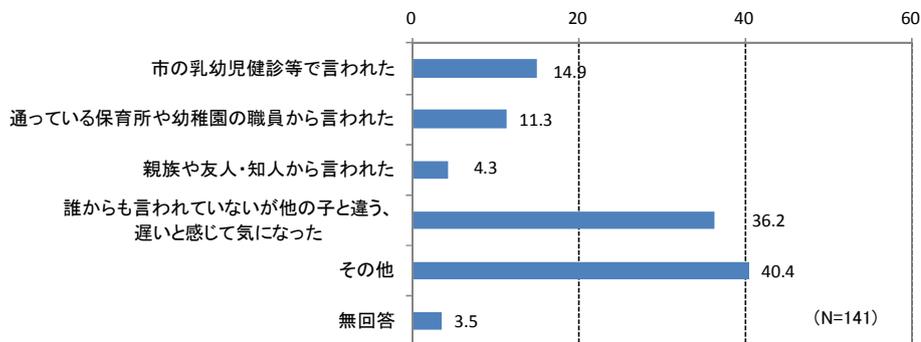
12-2. 発育・発達等に関する悩みについて

「子どもの健康に関すること（発育・発達・食事など）」に関して日常悩んでいる、または気になると答えた方の、気になったきっかけについてみると、「誰からも言われていないが、他の子と違う、遅いと感じて気になった」が 36.2%で最も多くなっています。以下「市の乳幼児健診等で言われた」（14.9%）、「通っている保育所や幼稚園の職員から言われた」（11.3%）、「親族や友人・知人から言われた」（4.3%）と続いています。

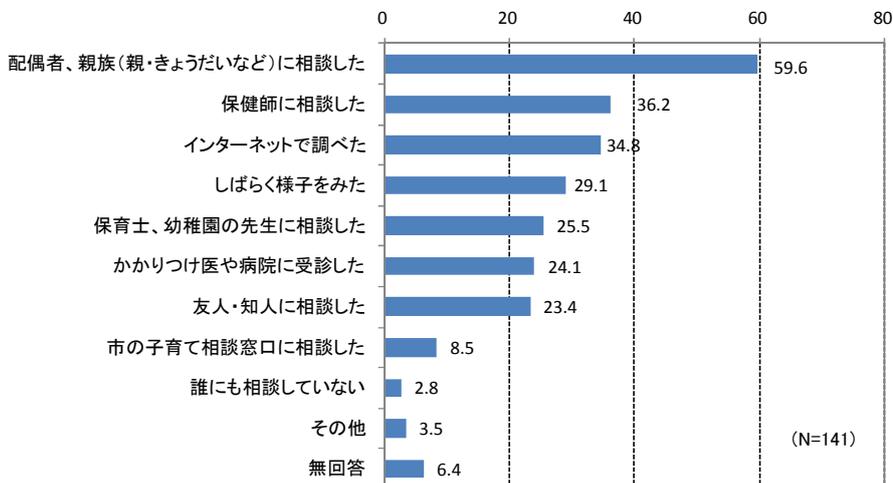
また、その時どのような行動をとったかについてみると、「配偶者、親族（親・きょうだいなど）に相談した」が 59.6%と最も多く、以下「保健師に相談した」（36.2%）、「インターネットで調べた」（34.8%）、「しばらく様子を見た」（29.1%）と続いています。

問 26 で「1」に○をした方にお伺いします。

問 26-1. お子さんの発育・発達で気になったきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてに○）



問 26-2. その時、あなたはどのように行動しましたか。（あてはまるものすべてに○）

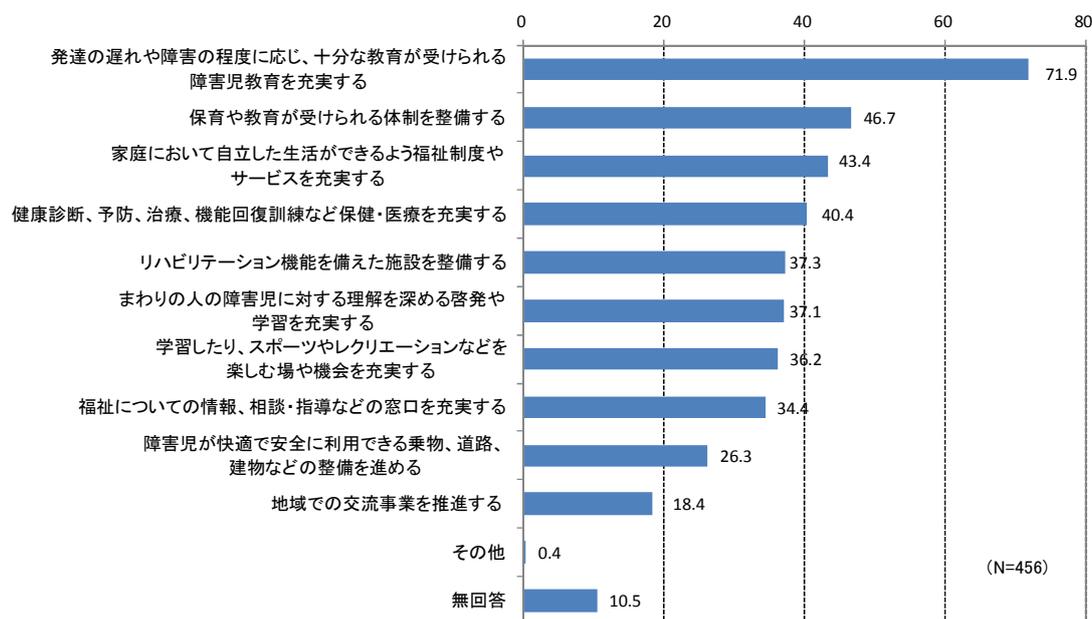


12-3. 子どもに発達の遅れや障害があった場合の要望について

お子さんに発達の遅れや障害があった場合の要望についてみると、「発達の遅れや障害の程度に応じ、十分な教育が受けられる障害児教育を充実する」が 71.9%で最も多くなっています。以下「保育や教育が受けられる体制を整備する」(46.7%)、「家庭において自立した生活ができるよう福祉制度やサービスを充実する」(43.4%)、「健康診断、予防、治療、機能回復訓練など保健・医療を充実する」(40.4%)と続いており、それぞれ4割を超えています。

充実した教育や保育、安心して過ごせる福祉制度やサービス等に対するニーズがうかがえます。

問 27. あなたのお子さんに発達の遅れや障害があった場合、どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



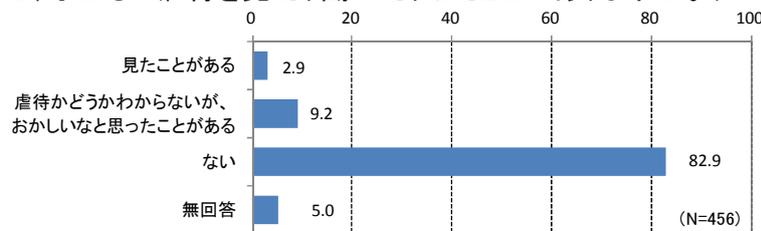
12-4. 子どもの虐待について

身近なところで、子どもの虐待を見たり聞いたりしたことがあるかについてみると、「見たことがある」が 2.9%、「虐待かどうかわからないが、おかしいなと思ったことがある」が 9.2%で、全体の 1 割を超える人が、何らかの形で虐待と感じる場面に遭遇しています。

その状況についてみると、「子どものひどい泣き声や、親の怒鳴り声が聞こえる」が 52.7%で最も多く、ついで「子どもがよく原因不明のケガやヤケドをしている」(14.5%)となっています。以下「子どもがいつも不潔な服を着ている」「子どもが家の外に長い時間立たされていることがある」「乳幼児を自宅に置いたまま、親が長時間または夜間外出していることが度々ある」がそれぞれ同率で 10.9%となっています。

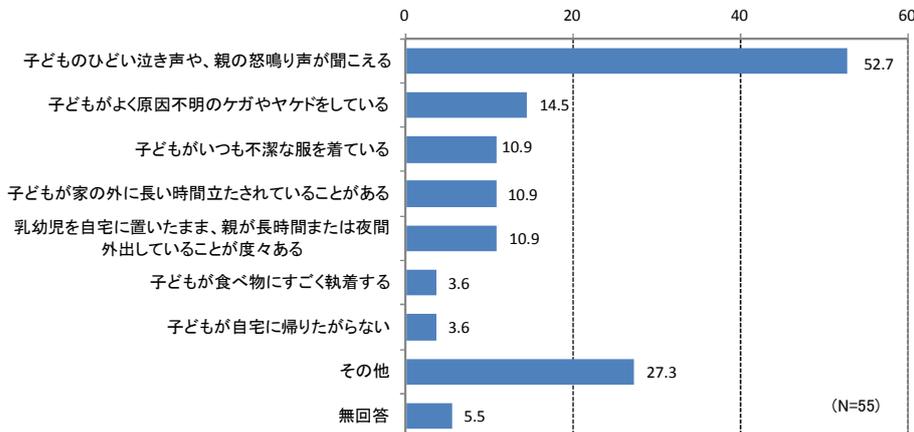
その際の対応についてみると、「知り合いの人たちへ相談した」が 27.3%で、以下「保育所・幼稚園、学校などに連絡した」(14.5%)、「直接その子にきいてみた」(12.7%)、「直接その子の保護者に注意した」(10.9%)となっています。一方、「特に何もしていない」が 29.1%で約 3 割を占めており、虐待を発見した際の通報先について、広く周知を図る必要があります。

問 28. 身近なところで、子どもの虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。(1 つに○)

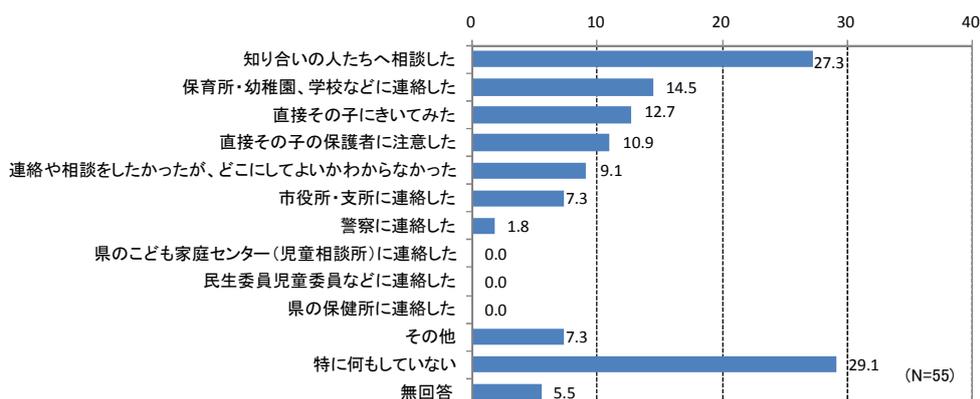


問 28 で「1」「2」に○をした方にお伺いします。

問 28-1. それはどのような状況でしたか。(あてはまるものすべてに○)



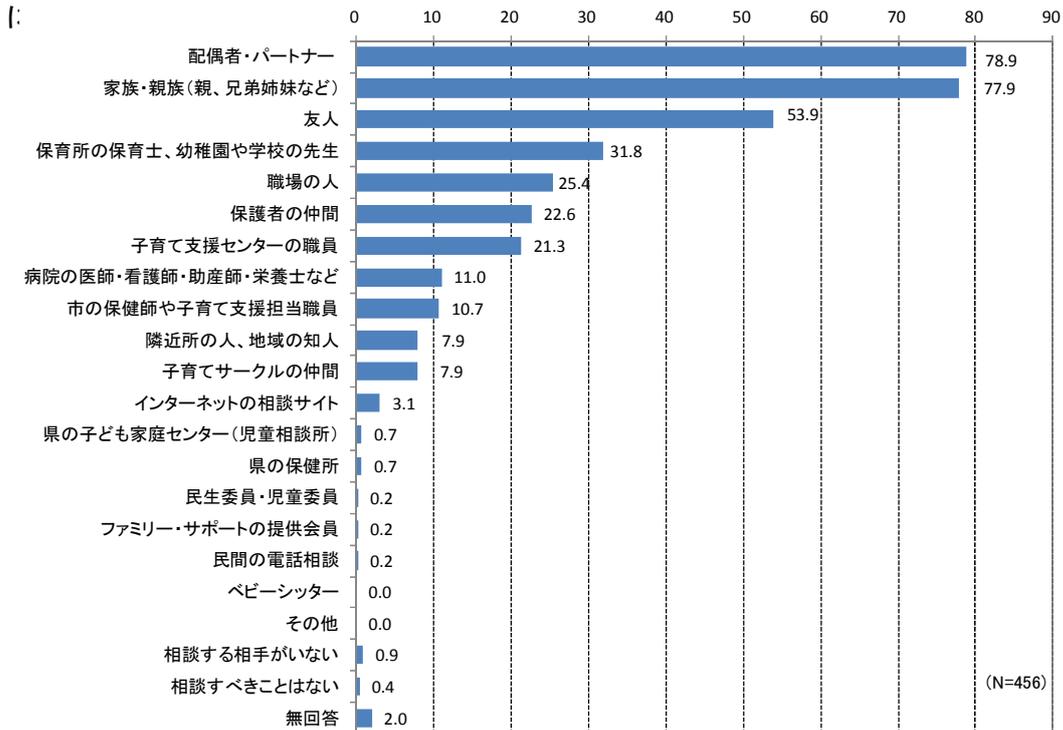
問 28-2. そのとき、どのような対応をされましたか。(あてはまるものすべてに○)



12-5. 子育てに関する悩みについて

子育てに関する悩みや不安の相談相手としては、「配偶者・パートナー」（78.9%）、「家族・親族（親、兄弟姉妹など）」（77.9%）の2項目が目立って多く、ついで「友人」（53.9%）の順となっており、身近な相談相手が多くなっています。以下「保育所の保育士、幼稚園や学校の先生」（31.8%）、「職場の人」（25.4%）と続いています。一方、公的な相談機関等については、いずれもやや少ない割合となっています。

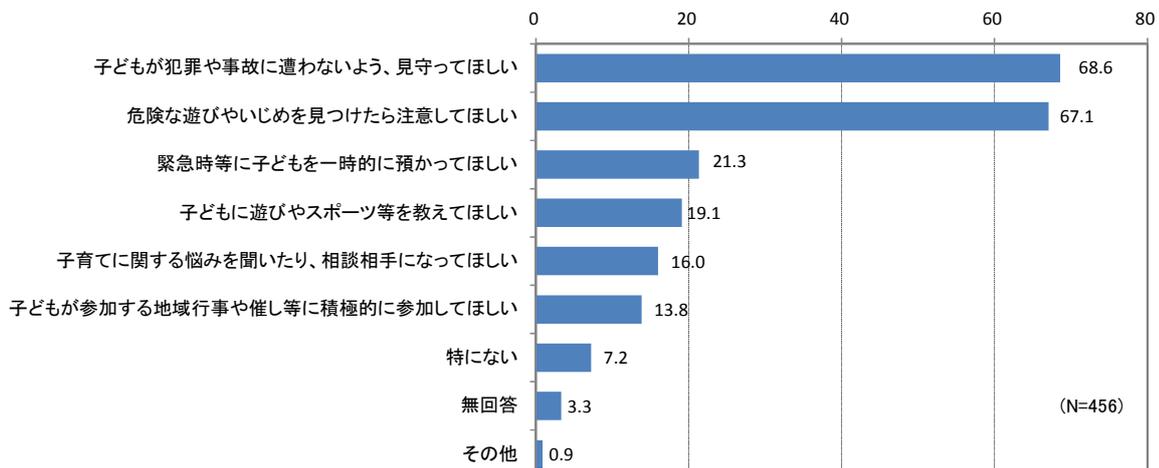
問 29. 身近で、子育てに関する悩みや不安をどなた（どこ）に相談していますか。（あてはまるものすべて）



12-6. 地域に望む子育て支援について

子育て支援として、身近な地域の人に望むことについてみると、「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が68.6%、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が67.1%で、この2項目が目立って多くなっています。子どもが地域で安心して過ごせるよう、見守り等の支援が望まれています。

問 30. 子育て支援として、身近な地域の人に望むことがありますか。（3つまで○）



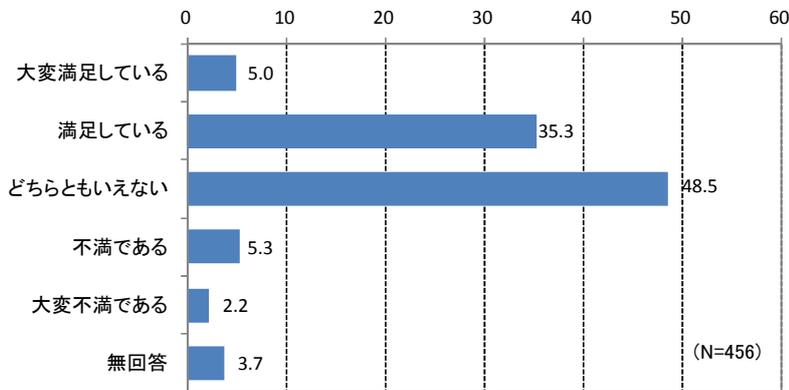
12-7. 本市の子育て支援について

「庄原市の子育て支援サービスに満足していますか」という質問に対して、「大変満足している」と「満足している」を合わせた割合が40.3%で、約4割が「満足している」と答えています。

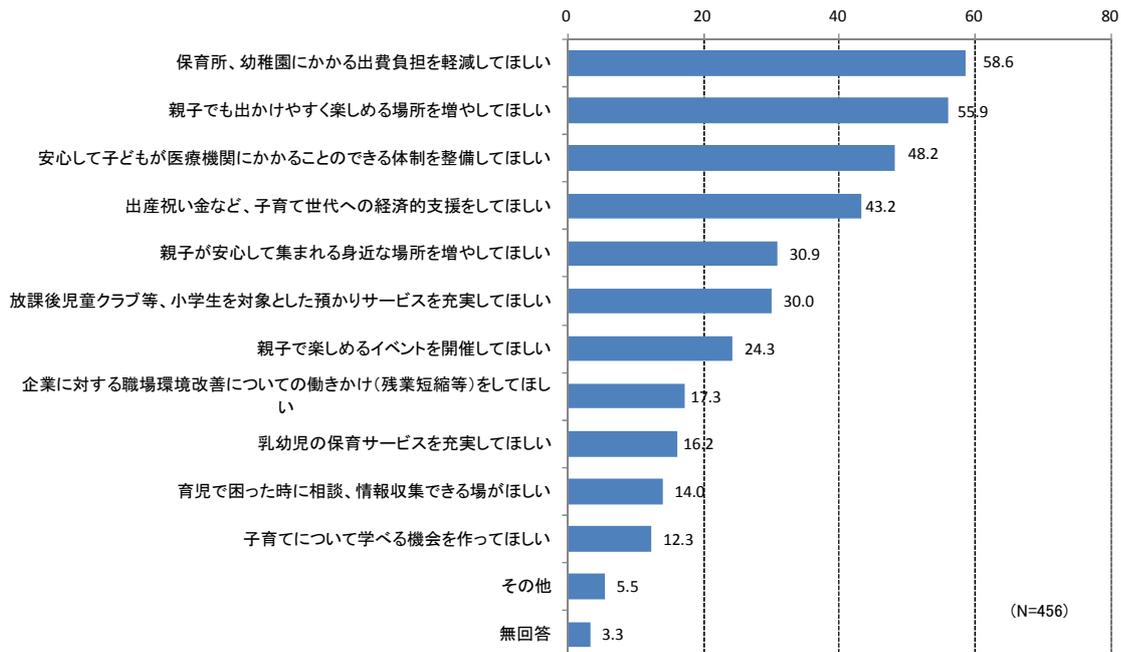
また庄原市のこれからの子育て支援サービス等について、特に充実させてほしいと思うことについてみると、「保育所、幼稚園にかかる出費負担を軽減してほしい」が58.6%で最も多く、ついで「親子でも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」(55.9%)と、いずれも5割以上となっています。以下「安心して子どもが医療機関にかかることのできる体制を整備してほしい」(48.2%)、「出産祝い金など、子育て世代への経済的支援をしてほしい」(43.2%)と続いています。

子育てに関する出費の軽減、安心して子育てに取り組める環境の整備や、親子で楽しめる場所・イベント等の充実に対するニーズがうかがえます。

問 31. あなたは、庄原市の子育て支援サービスに満足していますか。(1つに○)



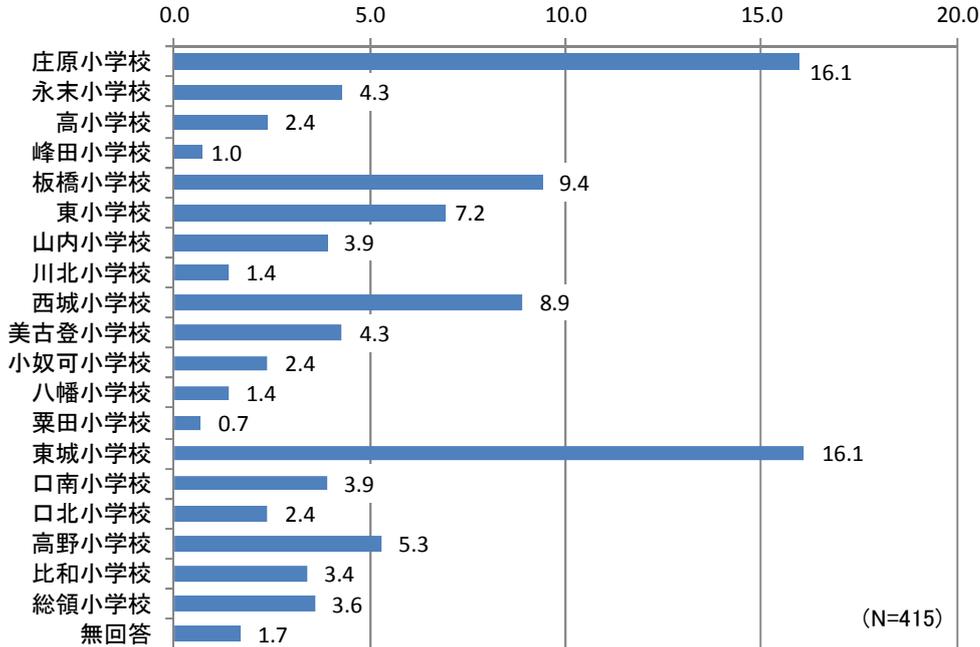
問 32. 庄原市のこれからの子育て支援サービス等について、特に充実させてほしいと思うことは何ですか。(5つまで○)



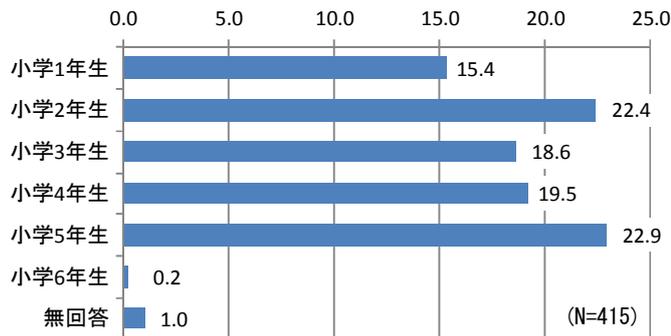
/// 小学生児童調査結果

1. 対象者及び保護者の特性

問1. お住まいの小学校区を教えてください。(1つに〇)

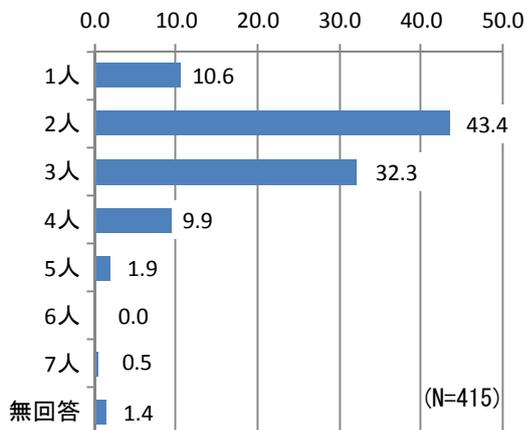


問2. あて名のお子さんの学年をお聞きします。

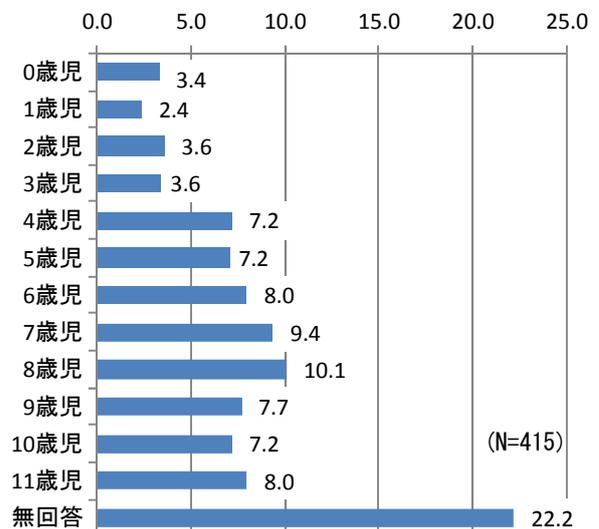


問3. あて名のお子さんに兄弟姉妹は何人おられますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。また、2人以上おられる場合、末子の生年月をお答えください。

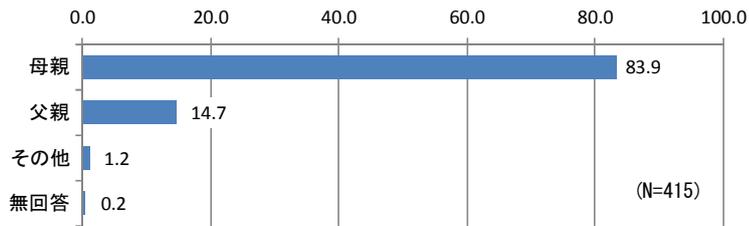
【子どもの数】



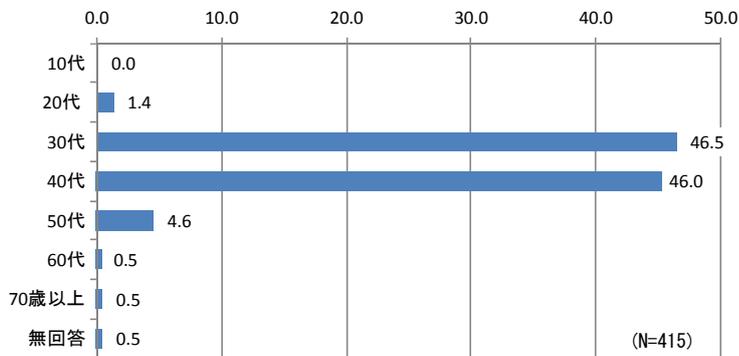
【末子の年齢】



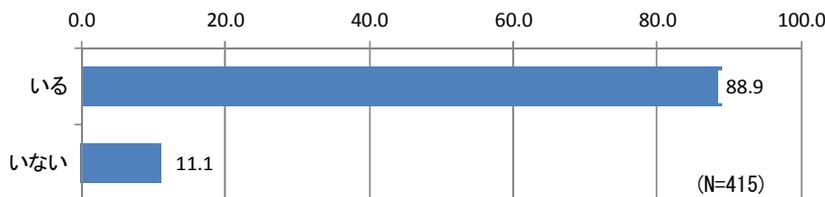
問4. あなたは、あて名のお子さんからみて、続柄は何ですか。(1つに○)



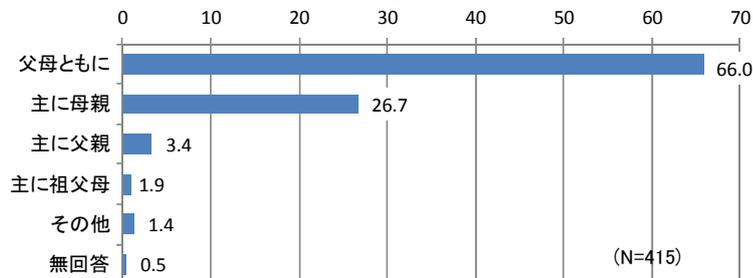
問5. あなたの年齢を教えてください。(1つに○)



問6. あなたに配偶者はいらっしゃいますか。(1つに○)



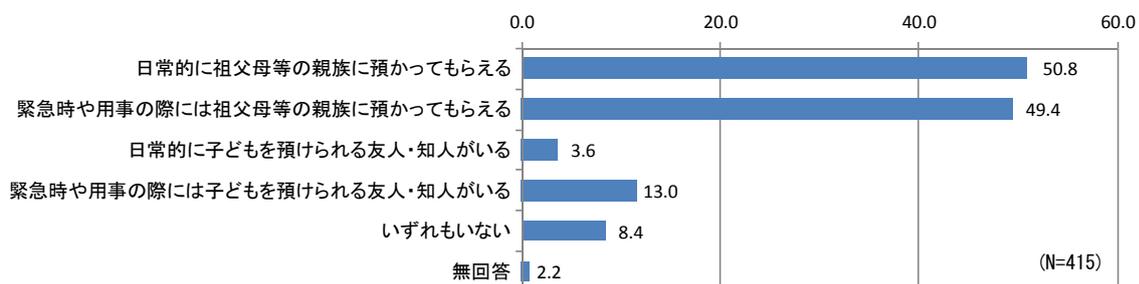
問7. あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(1つに○)



2. 祖父母などに預かってもらっている状況

お子さんをみてもらえる人の有無についてみると、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が 50.8%と全体の約 5 割となっています。一方、「いずれもない」が 8.4%となっており、このような家庭は緊急時の対応が懸念されます。

問9. あて名のお子さんをみてもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)



3. 保護者の就労状況について

3-1. 母親(父親)の就労形態

母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」が 56.4%で最も多く、ついで「パート・アルバイト等で就労している」が 22.7%となっています。続いて「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 10.6%です。

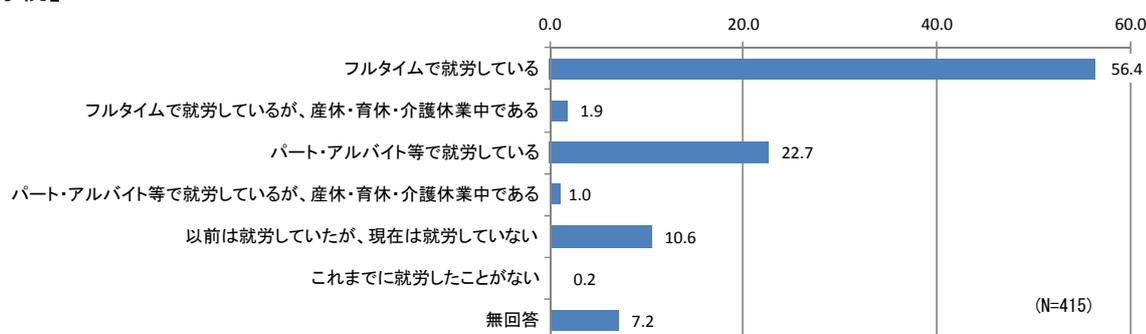
父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」が 87.7%で全体の 8 割以上を占めています。

父親の就労状況と比べると、母親の就労状況はフルタイム就労、パート・アルバイト等就労と多様化しています。

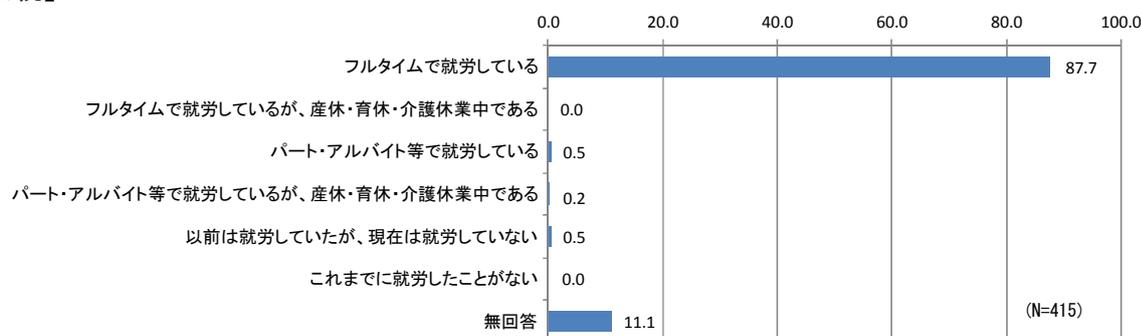
すべての方にお伺いします。

問 10. 現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお伺いします。

【母親】



【父親】

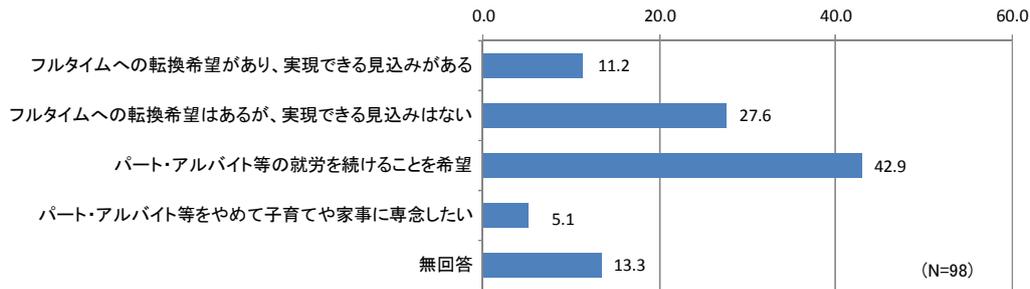


3-2. フルタイムへの転換希望(母親)

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望についてみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が42.9%で最も多くなっています。「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(27.6%)、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(11.2%)と、全体的なフルタイムへの転換希望の割合は38.8%ですが、実現できる見込みがあるのはそのうちの11.2%と、フルタイムへの転換が難しい状況がうかがえます。

問10で「3」または「4」に○をした方にお伺いします。

問10-1. フルタイムへの転換希望はありますか。



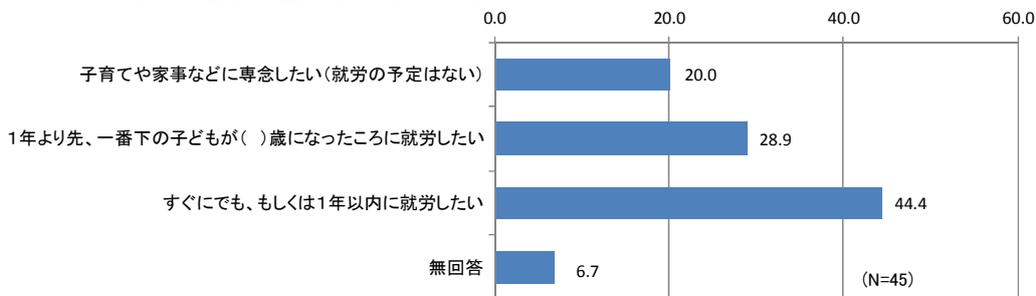
3-3. 現在就労していない母親の就労意向

(1) 就労意向

現在就労していない母親の就労意向についてみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が44.4%、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が28.9%と、全体の就労意向は73.3%で、就労意欲がある人は7割以上となっています。

問10で「5」または「6」に○をした方にお伺いします。

問10-2. 今後の就労希望はありますか。

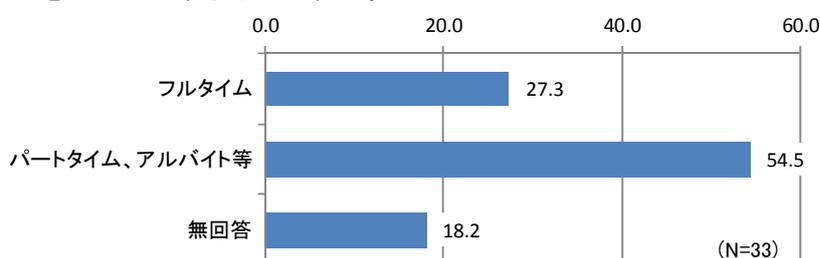


(2) 就労希望の形態

就労意向を持つ母親が希望する就労形態をみると、「パート・アルバイト等」が54.5%と全体の半数以上を占めています。「フルタイム」を希望する人は27.3%で、子育てをしながら就労するには、フルタイムよりも短い時間で働くことを希望する割合が多いことがうかがえます。

問10-2で「2」または「3」に○をした方にお伺いします。

問10-3. 就労希望の形態はどのようなものですか。



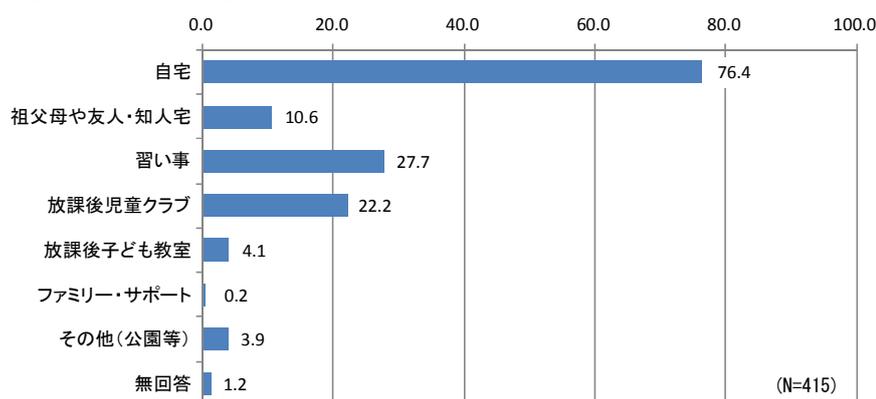
4. 放課後児童クラブについて

4-1. 放課後(平日) の過ごし方

放課後を過ごしている場所についてみると、「自宅」が76.4%で最も多く、ついで「習い事」の27.7%となっています。以下「放課後児童クラブ」(22.2%)、「祖父母や友人・知人宅」(10.6%)と続いています。

お子さんの放課後等の過ごし方についてお伺いします。

問 11. お子さんは、小学校の放課後(平日の小学校終了後)を、どのような場所で過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)



4-2. 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の利用状況

放課後児童クラブを利用している方の利用状況をみると、平日は「利用している」が83.7%で8割以上の方が利用しています。土曜日は「利用している」が20.7%で、平日の4分の1の割合となっています。長期休暇期間中をみると、「利用している」が93.5%で、9割以上の方が利用しており、平日より多い割合となっています。

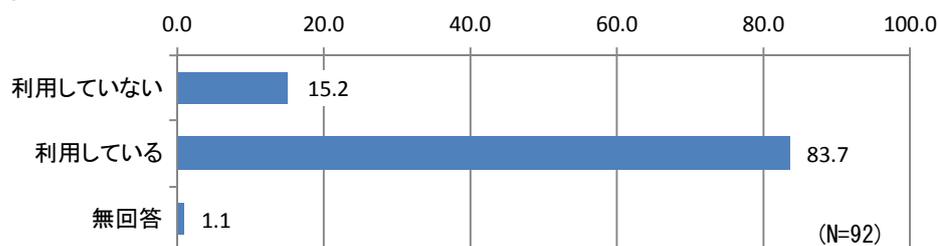
放課後子ども教室の利用状況をみると、平日は「利用している」が70.6%となっています。土曜日は「利用している」が5.9%で平日と比べて大幅に少なくなっています。長期休暇期間中をみると、「利用している」が82.4%で、8割以上の方が利用しており、平日より多い割合となっています。

問 11 で「4」「5」に○をした方にお伺いします。

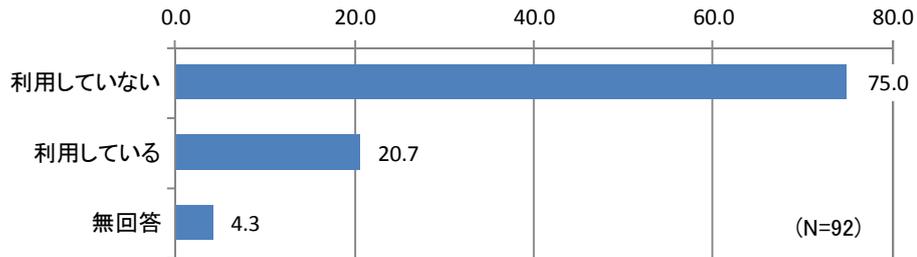
問 11-1. 放課後児童クラブ、放課後子ども教室の平日と土曜日、夏休みや冬休み等の利用状況についてお答えください。(それぞれ1つに○)

【放課後児童クラブ】

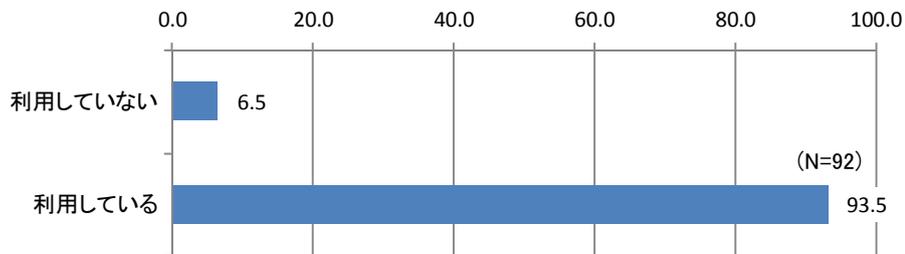
(1) 平日



(2) 土曜日

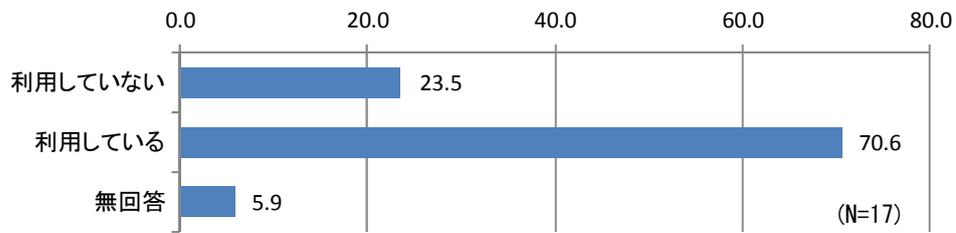


(3) 夏休み・冬休み等長期休暇期間

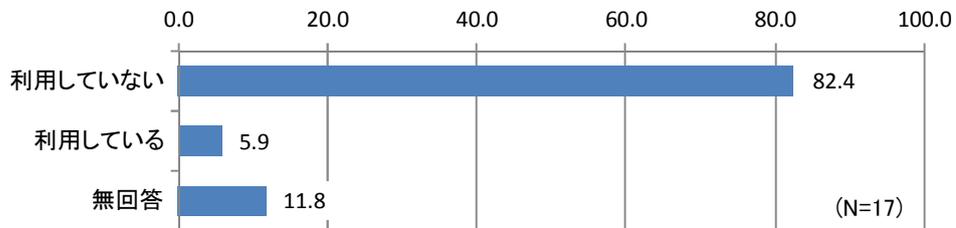


【放課後子ども教室】

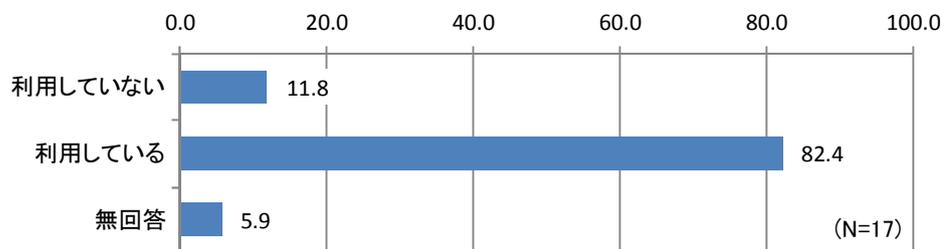
(1) 平日



(2) 土曜日



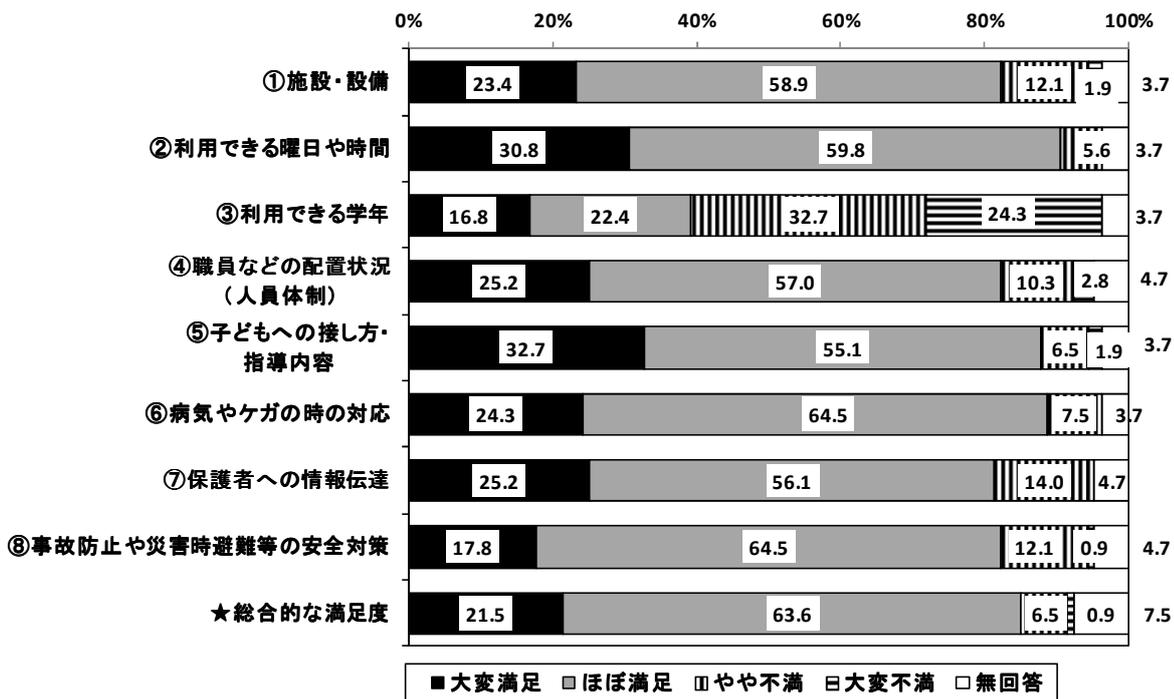
(3) 夏休み・冬休み等長期休暇期間中



4-3. 放課後児童クラブの満足度

現在通っている放課後児童クラブに対する満足度についてみると、「②利用できる曜日や時間」は「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた割合が 90.6%で最も多く、ついで「⑥病気やケガの時の対応」の 88.8%、「⑤子どもへの接し方・指導内容」の 87.8%と続いています。一方、「③利用できる学年」は「やや不満」と「不満」を合わせた割合が 57.0%で最も少なくなっています。利用できる学年の改善に対するニーズがうかがえます。総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた割合が 85.1%と、8 割以上の人は満足していると答えています。

問 11-2. 現在通っている放課後児童クラブや放課後子ども教室に対してどのように感じていますか。(①～⑧、★総合的な満足度それぞれ1つに○)

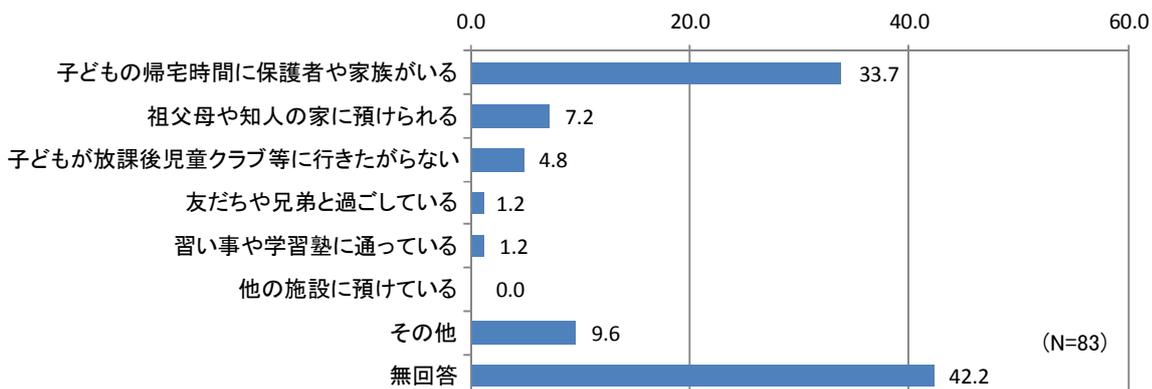


4-4. 放課後児童クラブを利用していない理由

放課後児童クラブを利用していない方の理由についてみると、「子どもの帰宅時間に保護者や家族がいる」が 33.7%で最も多くなっています。以下「祖父母や知人の家に預けられる」(7.2%)、「子どもが放課後児童クラブ等に行きたがらない」(4.8%)と続いています。

問 11-1で平日、土曜日、長期休暇期間中のいずれかについて、「1」に○をした方にお伺いします。

問 11-3. 利用していないのは、どのような理由ですか。(1つに○)



4-5. 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の今後の利用意向

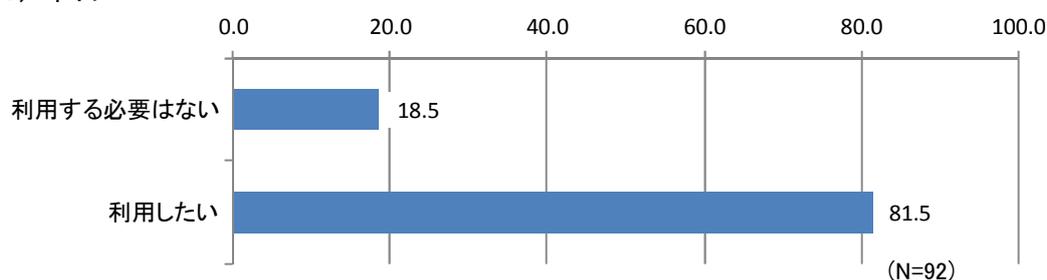
放課後児童クラブの今後の利用意向について、「利用したい」と答えた割合をみると、平日は81.5%、土曜日は33.7%、日曜日・祝日は12.0%、長期休暇期間は91.3%となっています。特に長期休暇期間については、利用希望のニーズがうかがえます。

放課後子ども教室の今後の利用意向について、「利用したい」と答えた割合をみると、平日は76.5%、土曜日は23.5%、日曜日・祝日は11.8%、長期休暇期間は82.4%となっています。平日の利用希望の割合と比べると、長期休暇期間の利用希望が多くなっています。

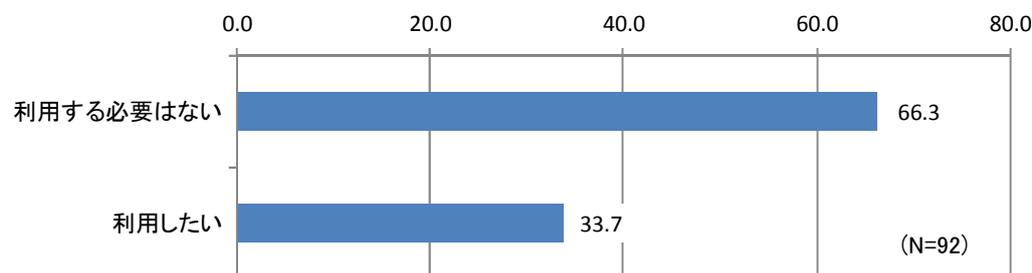
問 12. お子さんについて、今後も継続して放課後児童クラブ、放課後子ども教室の利用を希望されますか。
(それぞれ1つに○)

【放課後児童クラブ】

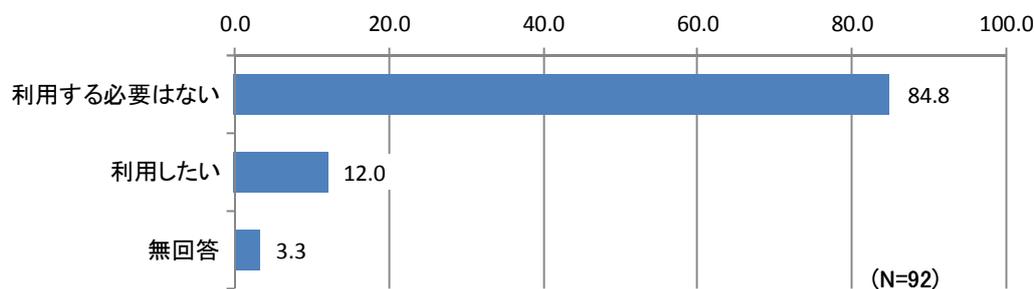
(1) 平日



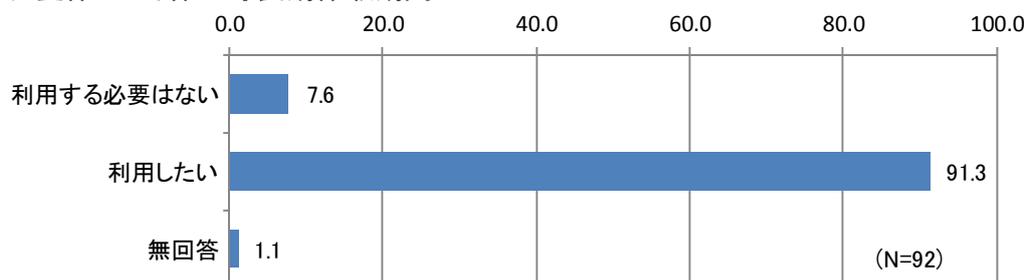
(2) 土曜日



(3) 日曜日・祝日

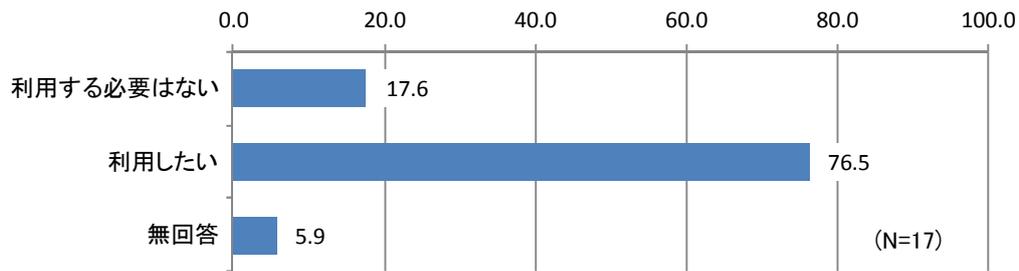


(4) 夏休み・冬休み等長期休暇期間

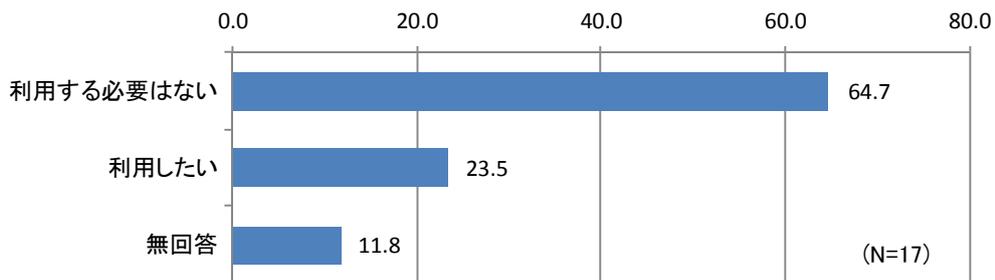


【放課後子ども教室】

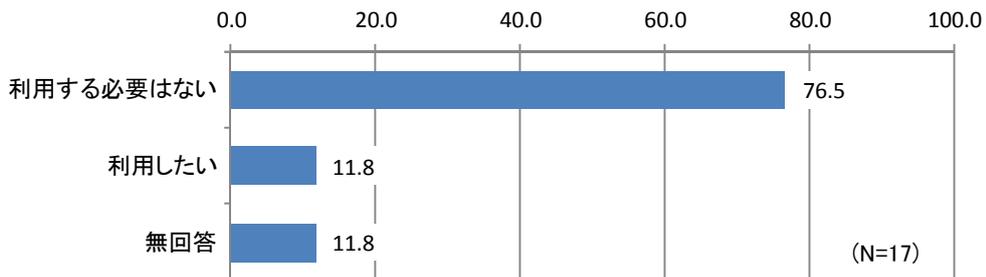
(1) 平日



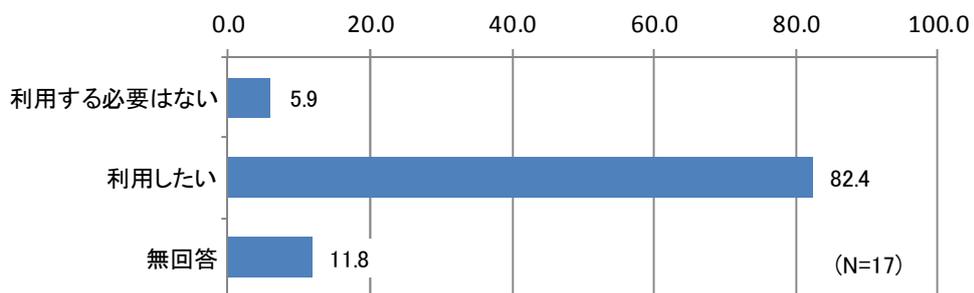
(2) 土曜日



(3) 日曜日・祝日



(4) 夏休み・冬休み等長期休暇期間



4-6. 高学年以降の利用意向

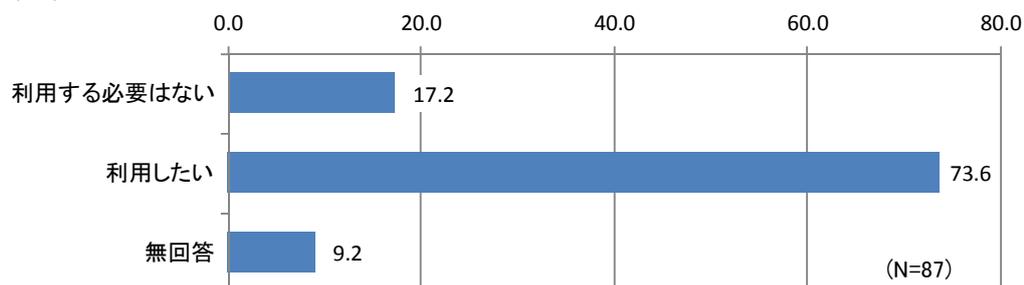
放課後児童クラブが小学校 6 年生まで利用できるようになった場合の利用意向について、利用希望の割合をみると、平日は 73.6%、土曜日は 28.7%、日曜日・祝日は 10.3%、長期休暇期間は 83.9%となっています。

高学年以降も放課後児童クラブの利用を希望する割合は高く、平日は 7 割以上、長期休暇期間中は 8 割以上が利用を希望しています。

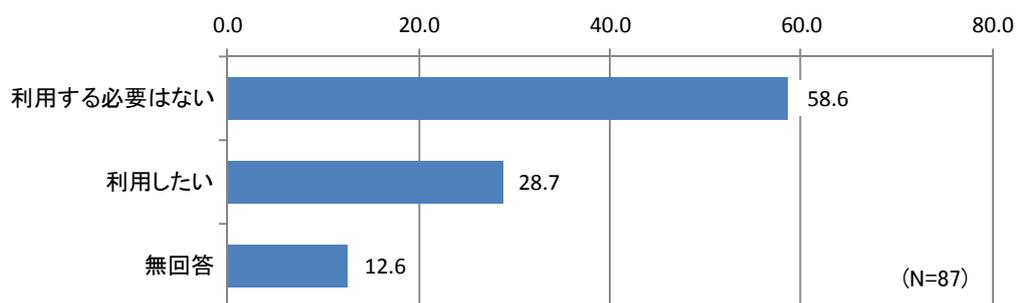
問 12 で平日、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休み等長期休暇期間のいずれかについて、「2」に○をした方に、放課後児童クラブについてお伺いします。「1」に○をした方は、問 14 にお進みください。

問 13. 放課後児童クラブが小学校 6 年生まで利用できるようになった場合、お子さんが小学校高学年(4～6 年生)になったとき、利用希望はありますか。(それぞれ1つに○)

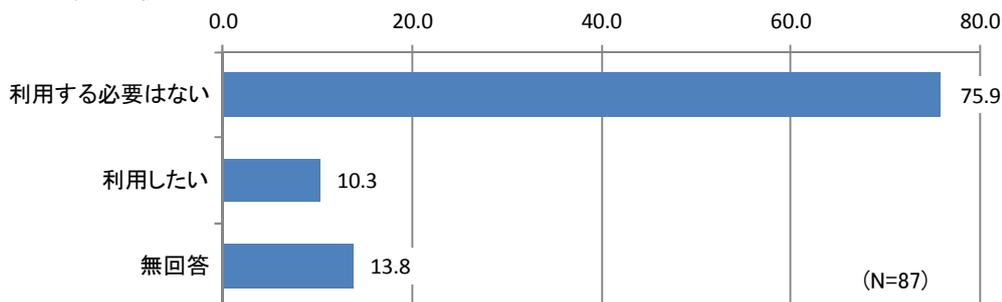
(1) 平日



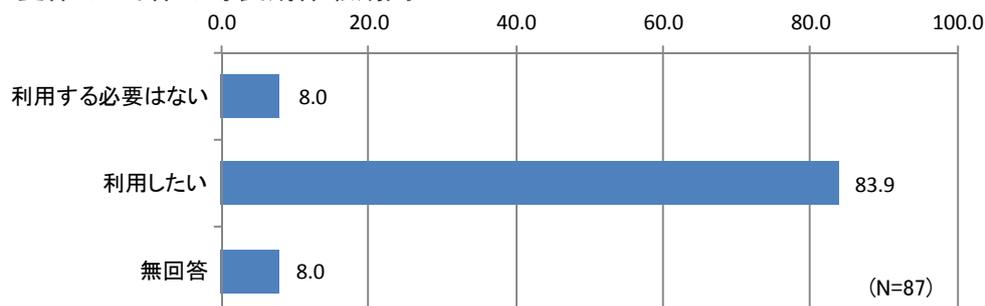
(2) 土曜日



(3) 日曜日・祝日



(4) 夏休み・冬休み等長期休暇期間



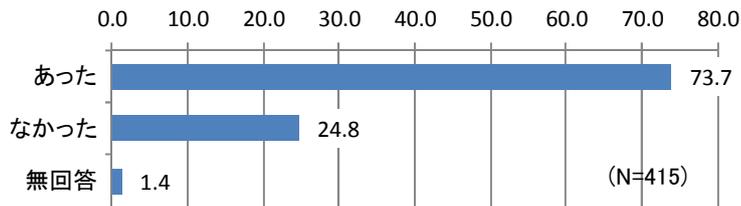
5. 病児・病後児保育について

5-1. 過去1年間に学校を休まなければいけなかったことの有無

この1年間で、お子さんが病気やケガで学校を休んだ経験についてみると、「あった」が73.7%で7割以上となっています。

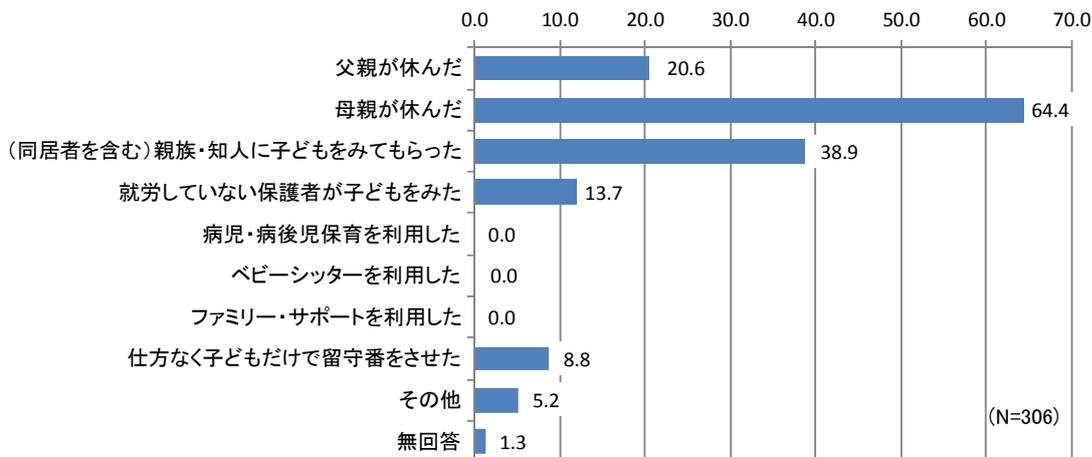
その対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が64.4%で最も多く、ついで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が38.9%となっています。以下「父親が仕事を休んだ」(20.6%)、「就労していない保護者が子どもをみた」(13.7%)と続いています。

問 14. この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。(1つに○)



問 14 で「1」に○をした方にお伺いします。

問 14-1. この1年間の対処方法とそれぞれの日数は何日でしたか。それぞれの日数をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

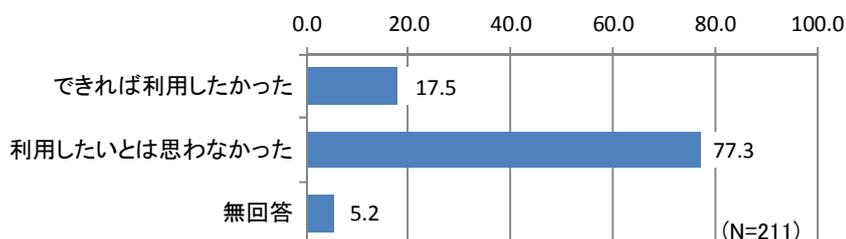


5-2. 病児・病後児保育の利用希望

父親または母親が仕事を休んで対処した人のうち、病児・病後児保育を「できれば利用したかった」と答えた割合は17.5%となっています。

問 14-1 で「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

問 14-2. その際、できれば病児・病後児保育を利用したいと思いましたが。(1つに○)

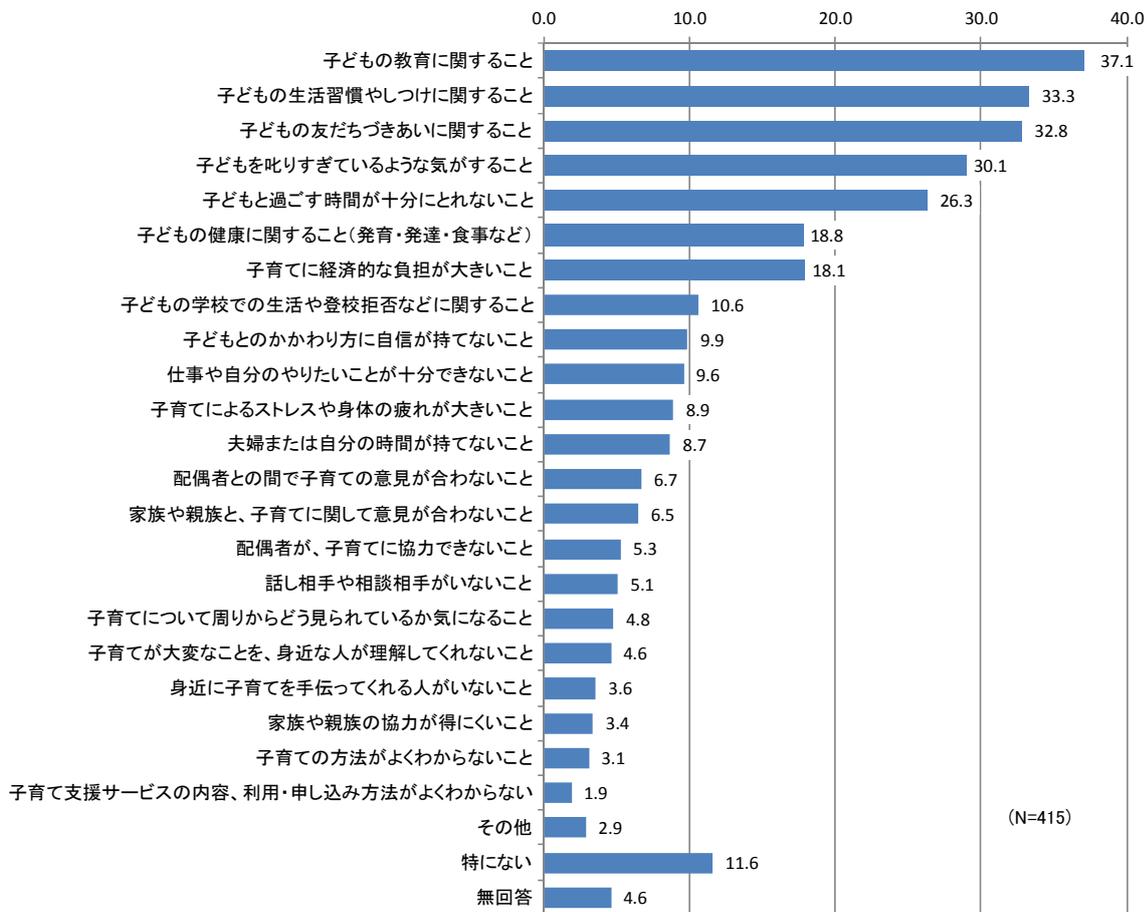


6. 子育て全般について

6-1. 子育てに関する悩みについて

子育てに関して日常悩んでいること、気になることについてみると、「子どもの教育に関すること」が37.1%で最も多く、ついで「子どもの生活習慣やしつけに関すること」が33.3%で続いています。以下「子どもの友だちづきあいに関すること」(32.8%)、「子どもを叱りすぎているような気がする」(30.1%)、「子どもと過ごす時間が十分にとれないこと」(26.3%)と続いています。

問 15. 子育てに関して、日常悩んでいること、また気になるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)



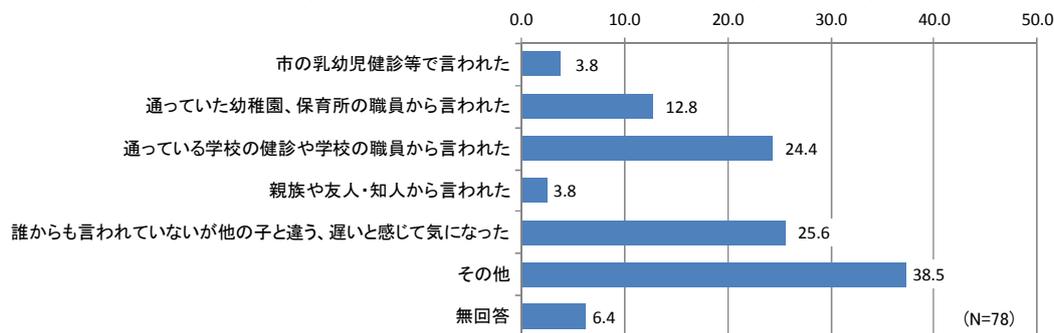
6-2. 発育・発達等に関する悩みについて

「子どもの健康に関すること（発育・発達・食事など）」に関して日常悩んでいる、または気になると答えた方の、気になったきっかけについてみると、「誰からも言われていないが他の子と違う、遅いと感じて気になった」が 25.6%、ついで「通っている学校の健診や学校の職員から言われた」（24.4%）、「通っていた幼稚園、保育所やの職員から言われた」（12.8%）と続いています。

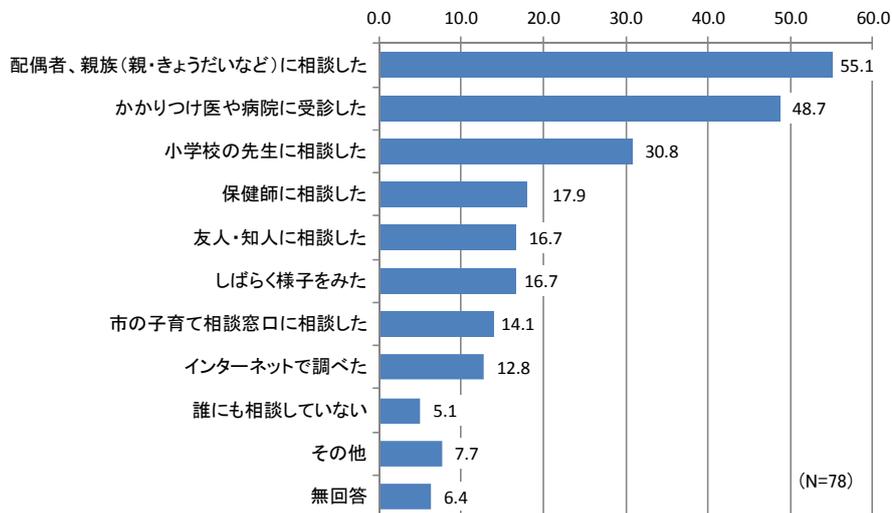
また、その時どのような行動をとったかについてみると、「配偶者、親族（親・きょうだいなど）に相談した」が 55.1%と最も多く、以下「かかりつけ医や病院に受診した」（48.7%）、「小学校の先生に相談した」（30.8%）、「保健師に相談した」（17.9%）となっています。

問 15 で「1」に○をした方にお伺いします。

問 15-1. お子さんの発育・発達で気になったきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてに○）



問 26-2. その時、あなたはどのように行動しましたか。（あてはまるものすべてに○）

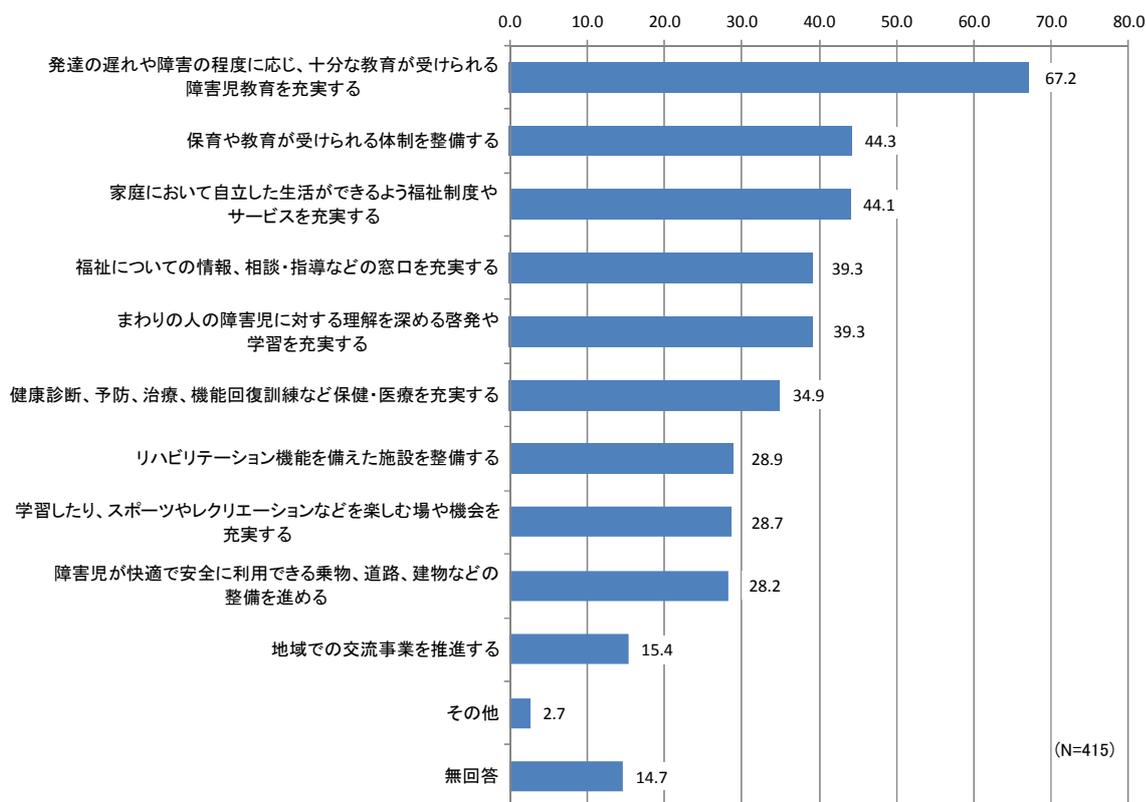


6-3. 子どもに発達の遅れや障害があった場合の要望について

お子さんに発達の遅れや障害があった場合の要望についてみると、「発達の遅れや障害の程度に応じ、十分な教育が受けられる障害児教育を充実する」が67.2%で最も多くなっています。以下「保育や教育が受けられる体制を整備する」(44.3%)、「家庭において自立した生活ができるよう福祉制度やサービスを充実する」(44.1%)、「福祉についての情報、相談・指導などの窓口を充実する」(39.3%)、「まわりの人の障害児に対する理解を深める啓発や学習を充実する」(39.3%)と続いています。

充実した教育や保育、安心して過ごせる福祉制度やサービス等に対するニーズがうかがえます。

問 16. あなたのお子さんに発達の遅れや障害があった場合、どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



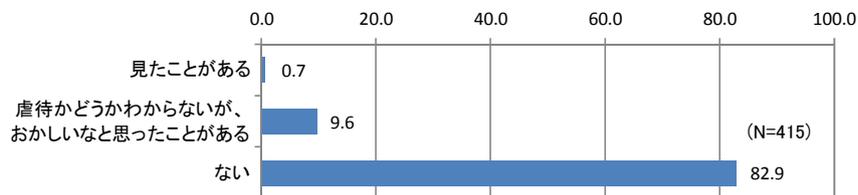
6-4. 子どもの虐待について

身近なところで、子どもの虐待を見たり聞いたりしたことがあるかについてみると、「見たことがある」が 0.7%、「虐待かどうかわからないが、おかしいなと思ったことがある」が 9.6%で、約 1 割の人が、何らかの形で虐待と感じる場面に遭遇しています。

その状況についてみると、「子どものひどい泣き声や、親の怒鳴り声が聞こえる」が 44.2%で最も多く、ついで「子どもがいつも不潔な服を着ている」(18.6%)となっています。以下「乳幼児を自宅に置いたまま、親が長時間または夜間外出していることが度々ある」(16.3%)、「子どもが食べ物にすごく執着する」(11.6%)と続いています。

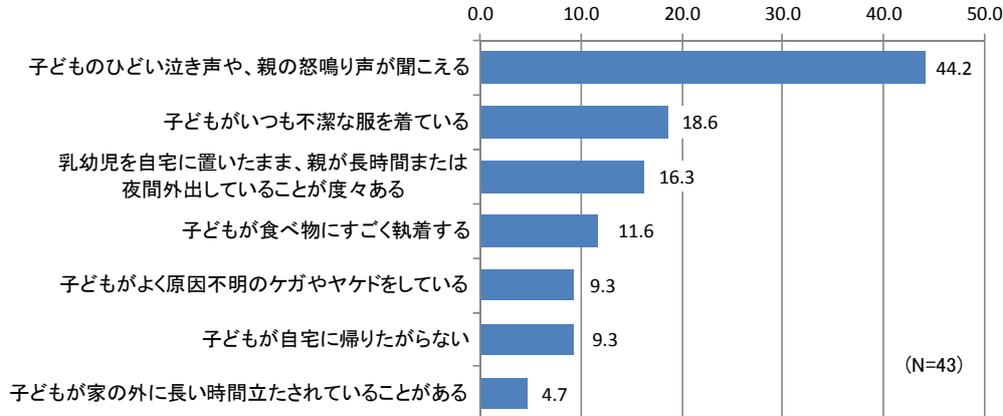
その際の対応についてみると、「知り合いの人たちへ相談した」が 32.6%で、以下「保育所・幼稚園、学校などに連絡した」(16.3%)、「連絡や相談をしたかったが、どこにしてよいかわからなかった」(14.0%)、「市役所・支所に連絡した」(9.3%)となっています。一方、「特に何もしていない」が 20.9%で約 2 割を占めており、虐待を発見した際の対応や通報先について、広く周知を図る必要があります。

問 17. 身近なところで、子どもの虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。(1つに○)

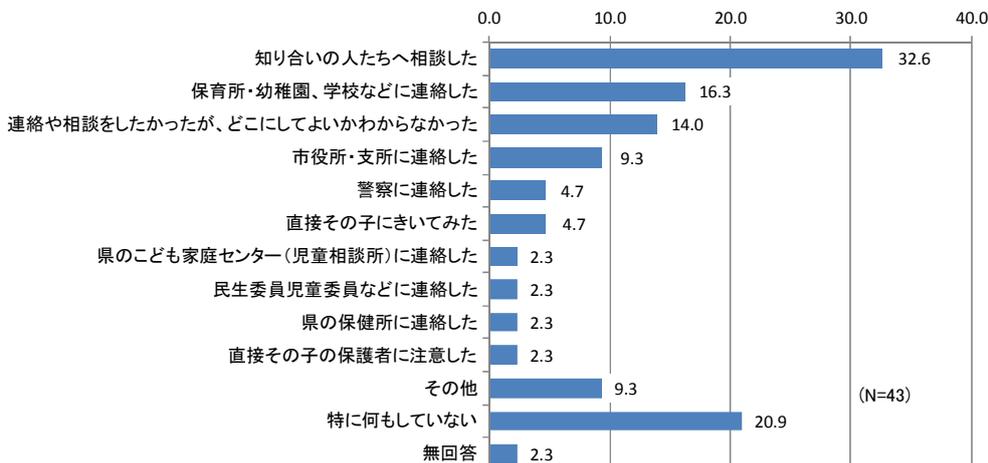


問 17 で「1」「2」に○をした方にお伺いします。

問 17-1. それはどのような状況でしたか。(あてはまるものすべてに○)



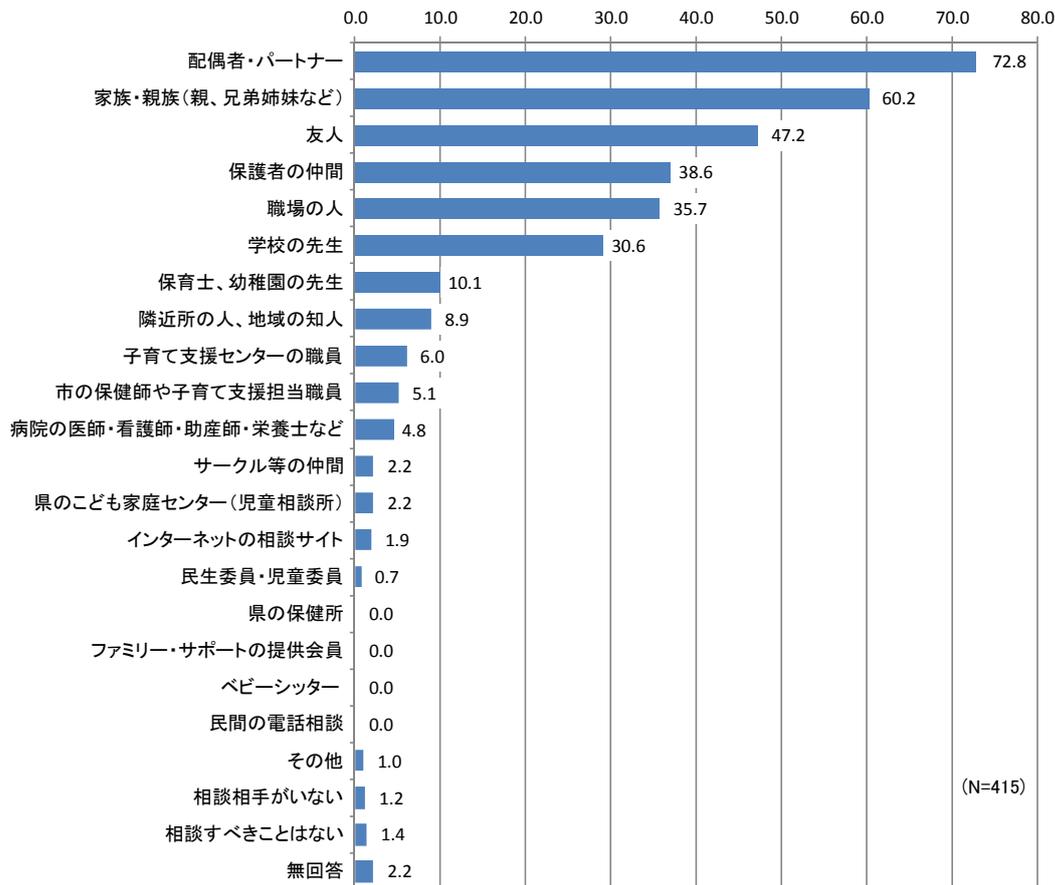
問 17-2. そのとき、どのような対応をされましたか。(あてはまるものすべてに○)



6-5. 子育てに関する悩みについて

子育てに関する悩みや不安の相談相手としては、「配偶者・パートナー」(72.8%)、「家族・親族(親、兄弟姉妹など)」(60.2%)、「友人」(47.2%)の順となっており、身近な相談相手が多くなっています。以下「保護者の仲間」(38.6%)、「職場の人」(35.7%)と続いています。一方、公的な相談機関等については、いずれもやや少ない割合となっています。

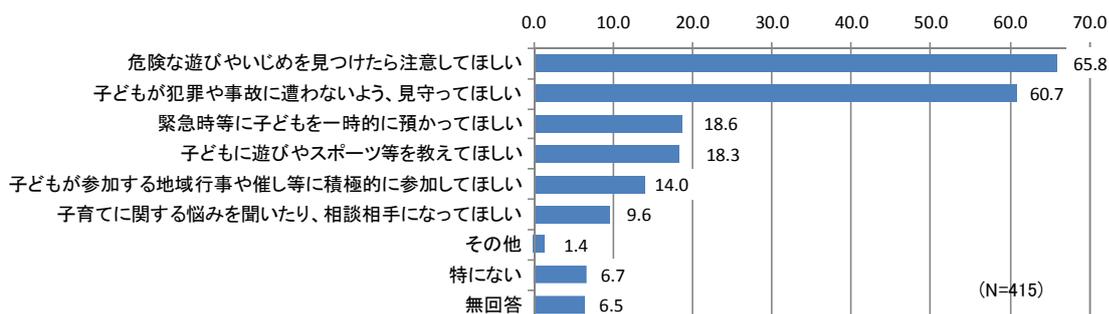
問 18. 身近で、子育てに関する悩みや不安をどなた(どこ)に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)



6-6. 地域に望む子育て支援について

子育て支援として、身近な地域の人に望むことについてみると、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が65.8%、「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が60.7%で、この2項目が目立って多くなっています。子どもが地域で安心して過ごせるよう、見守り等の支援が望まれています。

問 19. 子育て支援として、身近な地域の人に望むことがありますか。(3つまで○)



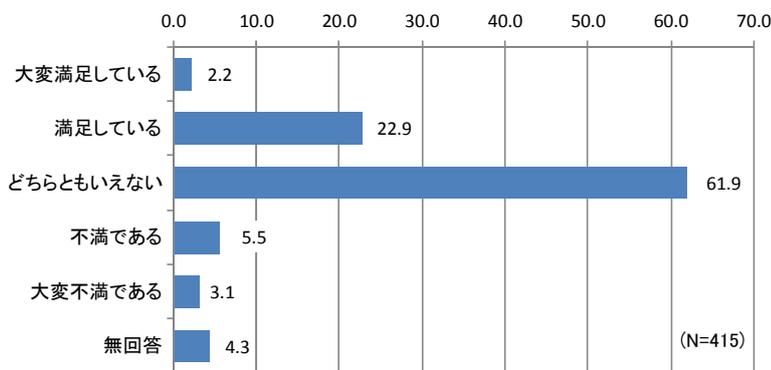
6-7. 本市の子育て支援について

「庄原市の子育て支援サービスに満足していますか」という質問に対して、「大変満足している」と「満足している」を合わせた割合は 25.1%で、約 4 人に 1 人が「満足している」と答えています。

また庄原市のこれからの子育て支援サービス等について、特に充実させてほしいと思うことについてみると、「安心して子どもが医療機関にかかることのできる体制を整備してほしい」が 51.1%で最も多くなっています。以下「親子で出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」(38.6%)、「出産祝い金など、子育て世帯への経済的支援をしてほしい」(35.2%)、「放課後児童クラブ等の預かりサービスを充実してほしい」(31.6%)と続いています。

安心して子育てに取り組めるよう、医療体制の整備、放課後児童クラブ等預かりサービスの充実や、親子で楽しめる場所・イベント等の充実に対するニーズがうかがえます。

問 20. あなたは、庄原市の子育て支援サービスに満足していますか。(1 つに○)



問 21. 庄原市のこれからの子育て支援サービス等について、特に充実させてほしいと思うことは何ですか。(5 つまで○)

